

科目名	舞台概論(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 飯塚 幸之介
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	舞台制作・舞台監督として数々の現場を担当。最近では音楽とテクノロジーのコラボイベントJ-WAVE INNOVATION WORLD FESTAの舞台制作を立ち上げ時から担当					
授業の学習 内容	舞台についての基礎を学ぶ 上演されるものについての基礎を学ぶ スタッフの業務内容を学ぶ					
到達目標	舞台制作の基礎を身につける 舞台制作に必要な知識を理解する					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	05月18日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台概論を学ぶ	レポート
2	05月25日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台概論を学ぶ	レポート
3	06月01日	講義・演習	オリエンテーション 考え方を学ぶ	レポート
4	06月08日	講義・演習	劇場・ホールの仕組みを学ぶ	行ったことのある会場の資料を調べておく
5	06月15日	講義・演習	スタッフの業務内容を理解する	レポート
6	06月22日	講義・演習	いろいろな図面を理解する	レポート
7	06月29日	講義・演習	タイムテーブルを理解する	レポート
8	07月06日	講義・演習	進行表・台本を理解する	レポート
9	07月13日	講義・演習	学園祭の準備① 企画を考える	事前に企画を考えておく
10	07月20日	講義・演習	学園祭の準備② 企画に沿った資料を作る	レポート
11	07月27日	講義・演習	学園祭の準備③ 当日に向けて準備をする	各自で具体的なイメージを考えておく
12	08月17日	講義・演習	学園祭のまとめ 来年に向けての反省会	事前に反省点などをまとめておく
13	08月24日	講義・演習	いろいろな資料の見方を学ぶ	レポート
14	08月31日	講義・演習	尺貫法を学ぶ。ものの大きさをイメージする	普段使っている物のサイズを測ってみる
15	09月14日	講義・演習	様々な公演スタイルの違いを理解する	経験したことのあるイベントをまとめておく
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	舞台概論(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 飯塚 幸之介
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	舞台制作・舞台監督として数々の現場を担当。最近では音楽とテクノロジーのコラボイベントJ-WAVE INNOVATION WORLD FESTAを立ち上げ時から担当					
授業の学習 内容	スタッフの業務内容を学ぶ					
到達目標	舞台を作り上げていく上での考え方を身につける 舞台上演前の準備が出来るようになる 協力して舞台の現場を作る力を身につける					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月05日	講義・演習	イベント実践(we are)を通して舞台監督スキルを学ぶ	レポート
2	10月12日	講義・演習	イベント実践(we are)を通して舞台監督スキルを学ぶ	レポート
3	10月19日	講義・演習	公演資料の作り方①公演概要書の作成	前期で学んだことを予習する
4	11月09日	講義・演習	公演資料の作り方②図面を作成する	前期で学んだことを予習する
5	11月16日	講義・演習	公演資料の作り方③タイムテーブルを作成する	前期で学んだことを予習する
6	11月23日	講義・演習	公演資料の作り方④手配書を作成する	レポート
7	11月30日	講義・演習	演習①ある企画を元に事前の準備を演習する	レポート
8	12月07日	講義・演習	演習②ある企画を元に事前の準備を演習する	レポート
9	12月14日	講義・演習	演習③ある企画を元に事前の準備を演習する	レポート
10	12月21日	講義・演習	イベントの演出・進行プランを作成する	レポート
11	01月18日	講義・演習	イベントの打ち合わせ進行を学ぶ	レポート
12	01月25日	講義・演習	イベントの確認事項を打ち合わせする	レポート
13	02月01日	講義・演習	イベントに向けて理解力を高める	レポート
14	02月08日	講義・演習	イベントの成果をまとめる	レポート
15	02月15日	講義・演習	イベントの実践を通して舞台演出を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	舞台美術デザイン(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 高橋 英司 中村 友美 村上 薫 阿部 一郎
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	現場での美術キャリアの長い4名の講師がオムニバス形式で授業を進行して行きます。					
授業の学習 内容	①劇場やイベント会場で、プロのスタッフと行動できるための最低限の基礎知識を身につける。					
到達目標	舞台劇場や製作会社でのデザイン授業、製作に使用する道具の名称、使用方法を学ぶ。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	舞台美術基礎①(舞台用語・尺貫法)	レポート・ワークシート
2	5月27日	講義・演習	舞台美術基礎②(透視図法・パース)	課題・ワークシート
3	6月3日	講義・演習	部屋の平面図の作成	課題・ワークシート
4	6月10日	講義・演習	模型の作成①(基礎)	課題・ワークシート
5	6月17日	講義・演習	模型の作成②(応用)	課題・ワークシート
6	6月24日	講義・演習	音楽の課題デザイン①	課題・ワークシート
7	7月1日	講義・演習	音楽課題デザイン模型製作①	課題・ワークシート
8	7月8日	講義・演習	戯曲・テキストデザイン②	課題・ワークシート
9	7月15日	講義・演習	戯曲・テキスト課題デザイン模型製作②	課題・ワークシート
10	7月22日	講義・演習	応用実習①	レポート
11	7月29日	講義・演習	応用実習②	レポート
12	8月19日	講義・演習	応用実習③	レポート
13	8月26日	講義・演習	応用実習④	レポート
14	9月2日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してデザインスキルを学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してデザインスキルを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
『8時だヨ! 全員集合の作り方』山田満郎				

科目名	舞台美術デザイン(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 高橋 英司 中村 友美 村上 薫 阿部 一郎
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	現場での美術キャリアの長い4名の講師がオムニバス形式で授業を進行して行きます。					
授業の学習 内容	①劇場やイベント会場で、プロのスタッフと行動できるための最低限の基礎知識を身につける。					
到達目標	舞台劇場や製作会社でのデザイン授業、製作に使用する道具の名称、使用方法を学ぶ。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	トリマーを使用した窓枠、装飾のデザイン	ワークシート
2	10月14日	講義・演習	トリマー・モールディングを使った製作実習	ワークシート
3	10月21日	講義・演習	扉のデザイン	ワークシート
4	11月11日	講義・演習	扉の製作実習	ワークシート
5	11月18日	講義・演習	和物建具の基礎とデザイン	ワークシート
6	11月25日	講義・演習	和物建具の製作実習	ワークシート
7	12月2日	講義・演習	ワゴン、引き枠、盆の構造・デザインについて	ワークシート
8	12月9日	講義・演習	ワゴン、引き枠、盆の構造製作と実習	ワークシート
9	12月16日	講義・演習	テーマ製作デザイン	ワークシート
10	1月6日	講義・演習	テーマ製作実習①	ワークシート
11	1月13日	講義・演習	テーマ製作デザイン②	ワークシート
12	1月20日	講義・演習	テーマ製作実習②	ワークシート
13	1月27日	講義・演習	テスト	ワークシート
14	2月10日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して美術デザインを学ぶ	ワークシート
15	2月17日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して美術デザインを学ぶ	ワークシート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Planning Basic (1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 高田 雄貴
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	コンサート企画制作会社キョードー東京にてイベント・ツアー制作等を担当、独立後ライブ制作の他フジテレビお台場冒険王等のライブイベントの制作にも携わる					
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から実務の基本を学習する”					
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	はじめに ～ 企画って何？	音楽事業者協会と音楽制作者連盟 についての調査を行う
2	5月27日	講義・演習	企画は誰の為を理解する	レポート
3	6月3日	講義・演習	会場について理解する	”公益社団法人 全国公立文化施設協会 についての調査を行う”
4	6月10日	講義・演習	5W1Hを理解する	レポート
5	6月17日	講義・演習	打合せとレジユメを理解する	レポート
6	6月24日	講義・演習	メディアとプロモーションを理解する	レポート
7	7月1日	講義・演習	ホームページとSNSを理解する	レポート
8	7月8日	講義・演習	マーケットについて知る	レポート
9	7月15日	講義・演習	売れてるヒットチャートを理解する	レポート
10	7月22日	講義・演習	スタッフについて知る	レポート
11	7月29日	講義・演習	集客するには(入場券とプレイガイド)を理解する	レポート
12	8月19日	講義・演習	イベントのビジネスモデルを知る	レポート
13	8月26日	講義・演習	企画立案しプレゼンする	レポート
14	9月2日	講義・演習	イベント実践を通してプランニング力を学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してプランニング力を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Planning Basic (2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 高田 雄貴
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	コンサート企画制作会社キョードー東京にてイベント・ツアー制作等を担当、独立後ライブ制作の他フジテレビお台場冒険王等のライブイベントの制作にも携わる					
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から実務の基本を学習する					
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	企画項目を整理する	レポート
2	10月14日	講義・演習	企画書作成の準備をする・1	アーティストの調査レポート
3	10月21日	講義・演習	企画書作成の準備をする・2	夏フェスティバルの調査レポート
4	11月11日	講義・演習	実在のイベントをモデルに企画書化する・1	夏フェスティバルの調査レポート
5	11月18日	講義・演習	実在のイベントをモデルに企画書化する・2	モデルタイムテーブルの作成
6	11月25日	講義・演習	会場設備理論(全国の会場を分析する) ホール編を学ぶ	全国のホールを調査する
7	12月2日	講義・演習	会場設備理論(全国の会場を分析する) ライブハウス編を学ぶ	全国のホールを調査する
8	12月9日	講義・演習	会場設備理論(全国の会場を分析する) アリーナスタジアム編を学ぶ	全国のホールを調査する
9	12月16日	講義・演習	イベント企画の研究する	オリンピックについて調査する
10	1月6日	講義・演習	イベントと法規を学ぶ	消防申請について調査する
11	1月13日	講義・演習	単体イベントとツアーの違いを理解する	クリスマスツアーの調査レポート
12	1月20日	講義・演習	ツアーの企画を立案する	交通インフラの調査レポート
13	1月27日	講義・演習	イベントのスタイルとビジネスモデルを学ぶ	ACPCの資料を検証レポート
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してプランニング力を学ぶ	準備レポートの提出
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してプランニング力を学ぶ	実施レポートの作成
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(1) Concert Stage Technique (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	井上陽介
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴	様々なアーティストの舞台監督を務める。舞台監督業10年以上						
授業の学習 内容	舞台制作、進行、演出、施工等を講義と実践的に学び、体験しそれぞれ自分の目的や適合性を考える。現場のシミュレーション体験を通じて社会のルールやマナー、チームワークや厳しさ、楽しさを学ぶ事を目指します。						
到達目標	授業を通じて団体行動、情報収集、技術的な能力を身に付け、スキルアップを目指す。また細分化された業種の中から自分に何が合っているかを見つける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台業務を学ぶ	レポートの提出
2	5月26日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台業務を学ぶ	レポートの提出
3	6月2日	講義・演習	オリエンテーション、コミュニケーション、注意事項、軽作業、概要説明	生徒同士での情報交換、コミュニケーション
4	6月9日	講義・演習	舞台の業務内容、危険回避、事故例などを知り、理解する	資料の整理、作成
5	6月16日	講義・演習	資料の作成、過去のイベントの資料整理や確認する	資料の整理、作成
6	6月23日	講義・演習	外部ホールの予習、資料作り 舞台の基本を理解する	資料の整理、作成
7	6月30日	講義・演習	外部ホール 実際の舞台機構を理解する	工具や必要品の準備など
8	7月7日	講義・演習	外部ホールの復習し、理解を深める	課題の確認、不明点の確認など
9	7月14日	講義・演習	外部ホールの課題を確認する	工具や必要品の準備など
10	7月21日	講義・演習	校内イベントを通して資料を制作する	資料の整理、作成
11	7月28日	講義・演習	校内イベントの振り返りし、理解を深める	課題の確認、不明点の確認など
12	8月18日	講義・演習	外部ホールの予習、資料作り 舞台機構の応用を理解する	資料の整理、作成
13	8月25日	講義・演習	外部ホール 実際の舞台での作業をする	工具や必要品の準備など
14	9月1日	講義・演習	外部ホールの課題確認をし、問題点をあげる	課題の確認、不明点の確認など
15	9月15日	講義・演習	テスト	課題の確認、不明点の確認など
準備学習 時間外学習			「先を読む」ということを身につける。「なぜその資料が必要なのか」を理解し、制作に当たる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(1) Concert Work Technique(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江見 千尋
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴	イベントターとして仕事をスタートし、その後 舞台監督、舞台照明などの業務に携わる						
授業の学習 内容	舞台、イベントなどをより深く知るために実習作業を基本にして授業を進めていく。						
到達目標	イベント制作の知識を会得し、能動的に物事を動かすことができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	チーム編成、スケジュールの確認など イベント制作における必要物について	チームの為の資料作成
2	5月26日	講義・演習	イベントの概念と概要書 主催について理解する	チームごとに担当イベントの概要書作成
3	6月2日	講義・演習	外部ホールにおけるホールの仕組み 次回イベントのミーティング	バンド イベント事前ミーティング(資料制作)
4	6月9日	講義・演習	ホール資料をもとに運営プランを考える 学内イベント対応	オムニバスLIVEの資料制作
5	6月16日	講義・演習	基本的な舞台知識について 舞台の機構や物の名称(照明)を理解する	舞台用語についての課題
6	6月23日	講義・演習	外部ホールにおけるホールの使い方 舞台の流れ、段取りについて	外部ホールの構造理解
7	6月30日	講義・演習	イベントのタイムテーブルを理解する	課題イベントのタイムテーブル作成
8	7月7日	講義・演習	外部ホールでの運営について イベントの企画立案について	外部ホールでの運営マニュアル作成
9	7月14日	講義・演習	図面について(使い方、作成方法)	課題イベントの図面を作成する
10	7月21日	講義・演習	外部ホールでの打ち合わせについて 次回イベントについてのミーティング	次回イベントの資料作成
11	7月28日	講義・演習	学内イベント対応/次回イベントについてミーティング 本番の進行について理解する	自由企画の資料を作成する
12	8月18日	講義・演習	学内イベント対応/次回イベントについてミーティング リハーサルについて理解する	LIVEイベントの資料作成
13	8月25日	講義・演習	定期テスト(舞台、運営について)	課題イベントの進行表を作成する
14	9月1日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して運営業務を学ぶ	レポートの提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して運営業務を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		必要理由の確認と、明解さのある資料を心がける		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(2) Concert Stage Technique (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	井上陽介
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴	様々なアーティストの舞台監督を務める 舞台監督業10年以上						
授業の学習 内容	舞台制作、進行、演出、施工等を講義と実習にて学び、体験しそれぞれ自分の目的や適合性を考える 現場のシミュレーション体験を通じて社会のルールやマナー、チームワークや厳しさ、楽しさを学ぶ事を目指します						
到達目標	授業を通じて団体行動、情報収集、技術的な能力を身に付け、スキルアップを目指す また細分化された業種の中から自分に何が合っているかを見つける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して舞台業務を学ぶ	レポートの提出
2	10月13日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して舞台業務を学ぶ	レポートの提出
3	10月20日	講義・演習	前期の復習 校内イベントに向けたチーム分け	課題の確認、不明点の確認
4	11月10日	講義・演習	校内イベント資料制作 工具を理解する	工具や必要品の準備
5	11月17日	講義・演習	校内イベント 実践的に学ぶ	資料の整理、作成
6	11月24日	講義・演習	校内イベントの振り返りをし問題点を理解する	課題の確認、不明点の確認
7	12月1日	講義・演習	外部ホール 実際の舞台機構に触る	工具や必要品の準備
8	12月8日	講義・演習	外部ホールの復習をし、想定される危険を理解する	課題の確認、不明点の確認
9	12月15日	講義・演習	校内イベントを通して資料制作を行う	工具や必要品の準備
10	12月22日	講義・演習	校内イベントを実践的に行い個々のレベルを知る	資料の整理、作成
11	1月12日	講義・演習	校内イベントの反省点をプレゼンテーションする	課題の確認、不明点の確認
12	1月19日	講義・演習	ホール実習の予習、資料作り 舞台の基本を説明できるようにする	資料の整理、作成
13	1月26日	講義・演習	外部ホール 実際の舞台にて構造を理解する	工具や必要品の準備など
14	2月9日	講義・演習	外部ホールの復習し、演出を考える	課題の確認、不明点の確認など
15	2月16日	講義・演習	テスト	課題の確認、不明点の確認など
準備学習 時間外学習			「先を読む」ということを身につける。「なぜその資料が必要なのか」を理解し、制作に当たる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(2) Concert Work Technique(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江見 千尋
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴	イベンターとして仕事をスタートし、その後 舞台監督、舞台照明などの業務に携わる						
授業の学習 内容	舞台、イベントなどをより深く知るために実習作業を基本にして授業を進めていく。 自分自身の力でイベントを制作することにより、座学だけでは得ることの出来ない「気づき」を体感する。						
到達目標	イベント制作の知識を会得し、能動的に物事を動かすことができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	スケジュールの確認など 前期の振り返り/次回イベントに関するミーティング	イベント事前ミーティング(資料制作)
2	10月13日	講義・演習	学内イベント対応 LIVEイベントのプロモーションについて	LIVEの事前ミーティング
3	10月20日	講義・演習	企画のコンセプトについて考える	LIVEの資料作成
4	11月10日	講義・演習	イベントの動員について	次回イベントの資料作成
5	11月17日	講義・演習	外部イベント対応/次回イベントについてミーティング 運営について…役割分担の重要性を理解する	イベント事前ミーティング(資料制作)
6	11月24日	講義・演習	学内イベント対応 運営マニュアルの作成について	進級制作展の運営マニュアル作成
7	12月1日	講義・演習	次回イベントについてのミーティング チケット業務について	次回イベントの資料作成
8	12月8日	講義・演習	学内イベント対応 外部ライブハウスでの運営業務について	オリジナルイベントの企画作成
9	12月15日	講義・演習	進級制作展の事前ミーティング	資料制作(制作資料・運営資料)
10	12月22日	講義・演習	進級制作展 終了報告会	進級制作展 終了報告書
11	1月12日	講義・演習	進行台本を理解する	資料制作(制作資料・運営資料・舞台資料)
12	1月19日	講義・演習	学内イベント対応 外部ホールでの運営業務について考える	次回外部ホールでのイベントの資料作成
13	1月26日	講義・演習	定期テスト(進行、制作、運営について)	資料制作(制作資料・運営資料・舞台資料)
14	2月9日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して運営業務を学ぶ	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して運営業務を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		必要理由の確認と、明解さのある資料を心がける		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vectorworks Basic(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	矢吹百合子
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	舞台美術デザイナー(Vectorworks使用) コンサートのセットデザインを中心に活動						
授業の学習 内容	業界内においては、スタッフはVectorworksを扱える事が最早必須事項となっています。 高度な設計シミュレーションソフトであるVectorworksについて学び、スキルを身に着けることで、業界への就業の間口を広くする事が出来ます。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■Vectorworksはどのようなソフトかを理解する ■平面図を書けるようになる ■測量したものをコンピュータで図面化出来るようになる ■劇場設備について理解出来るようになる ■図面に描かれていることを理解できる 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	イベント実践を通して作図を学ぶ	レポートの提出
2	5月29日	講義・演習	イベント実践を通して作図を学ぶ	レポートの提出
3	6月5日	講義・演習	自己紹介～Vectorworksの仕組み システムの解説から使用方法を理解する	課題
4	6月12日	講義・演習	使用ソフトの基本説明を行い基本の操作方法を学ぶ	図面作成/レポート
5	6月19日	講義・演習	2Dシミュレーションの基本(1) 2Dシミュレーションの基礎の作図方法を学ぶ	図面作成/レポート
6	6月26日	講義・演習	学園祭図面作成(1) 会場測量を行い実物と縮尺の違いを学ぶ	図面作成/レポート
7	7月3日	講義・演習	学園祭図面作成(2) 測量した会場の作図を行う舞台のツールを学ぶ	図面作成/レポート
8	7月10日	講義・演習	学園祭図面作成(3) 測量した会場の作図を行うステージ・パトンの書き方を学ぶ	図面作成/レポート
9	7月31日	講義・演習	劇場の図面作成(1) 劇場の設備を理解する	図面作成/レポート
10	8月21日	講義・演習	劇場の図面作成(2) 実際の劇場図面を作図し劇場機構の仕組みを学ぶ	図面作成/レポート
11	8月28日	講義・演習	製作物のデザインと図面作成(1) 平面図を書く事ができる	図面作成/レポート
12	9月4日	講義・演習	製作物のデザインと図面作成(2) セットデザインを実際の劇場に当て込み検証し理解する	図面作成/レポート
13	9月11日	講義・演習	明日への扉 図面作成(1) ミュージカルの舞台図面を書き起こす	図面作成/レポート
14	9月18日	講義・演習	明日への扉 図面作成(2) ミュージカルの舞台図面を作図する	図面作成/レポート
15	9月28日	講義・演習	明日への扉 図面作成(3) 舞台図面を仕込み図に変換する方法を学ぶ	図面作成/レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vectorworks Basic(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	矢吹百合子
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	舞台美術デザイナー(Vectorworks使用) コンサートのセットデザインを中心に活動						
授業の学習 内容	業界内においては、スタッフはVectorworksを扱える事が最早必須事項となっています。 高度な設計シミュレーションソフトであるVectorworksについて学び、スキルを身に着けることで、業界への就業の間口を広くする事が出来ます。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■Vectorworksはどのようなソフトかを理解する ■平面図を書けるようになる ■測量したものをコンピュータで図面化出来るようになる ■劇場設備について理解出来るようになる ■図面に描かれていることを理解できる 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベント実践を通して作図を学ぶ	レポートの提出
2	10月16日	講義・演習	イベント実践を通して作図を学ぶ	レポートの提出
3	10月23日	講義・演習	ハロウインの装飾デザイン(1) ハロウイン装飾のデザインを考案する	図面作成/レポート
4	11月6日	講義・演習	ハロウインの装飾デザイン(2) ハロウイン装飾の作図し模擬コンペを行う	図面作成/レポート
5	11月13日	講義・演習	3Dシミュレーションの基本(2) 3Dへの変換方法を学び実際に図面を作成する	図面作成/レポート
6	11月20日	講義・演習	3Dシミュレーションのまとめ(1) 3Dの見え方を学ぶ、光源による見え方の違いを理解する	図面作成/レポート
7	11月27日	講義・演習	劇場の3D作成(1) 実際の劇場を2Dから3Dに立ち上げる方法を学ぶ	図面作成/レポート
8	12月4日	講義・演習	劇場の3D作成(2) 3D変換された図面の検証方法を学ぶ	図面作成/レポート
9	12月11日	講義・演習	劇場の3D作成(3) 検証結果を基に総合的なイメージを作る	図面作成/レポート
10	12月18日	講義・演習	3Dシミュレーションのまとめ(2) テクスチャ設定を行い説得力のあるレンダリング結果を得る方法を学ぶ	図面作成/レポート
11	1月8日	講義・演習	クリスマスの装飾デザイン(1) 2Dでデザインと設計図を作る方法を学ぶ	図面作成/レポート
12	1月15日	講義・演習	クリスマスの装飾デザイン(2) 2D→3Dモデリングの編集方法を学ぶ	図面作成/レポート
13	1月22日	講義・演習	We are TSMIに向けて 装飾デザイン プレゼンボードの作成方法を学ぶ	図面作成/レポート
14	1月29日	講義・演習	We are TSMIに向けて 図面作成(1) 実際にイベントで使用する劇場の平面図を作図する	図面作成/レポート
15	2月12日	講義・演習	We are TSMIに向けて 図面作成(2) 実際にイベントで使用する仕込み図面を作図する	図面作成/レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロジェクトマネジメント(1) プロジェクトマネジメントA(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	片岡慎太郎
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴	早稲田大学文学部卒業後、東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校 イベントプランナーコースへ進学、現在は医学会・式典・その他各種イベントの制作を担当。						
授業の学習 内容	イベントは1つ1つ個性のあるものであるが、自身にとって新たな局面に直面した時に「わからない」ではなく「こうしたらいい」と自身で解決案を考えられるように、イベント制作業の基本的な知識を講義する						
到達目標	学生自らが考えながらイベントを企画・制作・運営できるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	05月18日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してイベントスキルを学ぶ	レポート
2	05月25日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してイベントスキルを学ぶ	レポート
3	06月01日	講義・演習	イントロダクション	ワークシート
4	06月08日	講義・演習	組織運営 イベントに関わるスタッフの種類と違いを理解する	ワークシート
5	06月15日	講義・演習	イベント制作業を理解する	ワークシート
6	06月22日	講義・演習	専門用語を理解する	ワークシート
7	06月29日	講義・演習	イベントで良く出てくる「数」についてを理解する	ワークシート
8	07月06日	講義・演習	客席の考え方を理解する	ワークシート
9	07月13日	講義・演習	受付業務・サイン計画について理解する	ワークシート
10	07月20日	講義・演習	運営マニュアルを理解する	ワークシート
11	07月27日	講義・演習	進行スタッフとその役割、台本制作を理解する	ワークシート
12	08月17日	講義・演習	日程表の制作を理解する	ワークシート
13	08月24日	講義・演習	セット図について理解する	ワークシート
14	08月31日	講義・演習	日本の代表的な会場を知る	ワークシート
15	09月14日	講義・演習	テスト	ワークシート
準備学習 時間外学習			前週の授業を理解し、先を見据えたイベントを考える	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロジェクトマネジメント(1) プロジェクトマネジメントB(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩谷 千里
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴	中央大学卒業後、イルカオフィス入社。マネージメントを経てレコード会社・東芝EMI(現ユニバーサル)では宣伝、制作を担当。吉川晃司やドリカムの宣伝プランナー、大黒摩季のチーフマネージャーとしても活躍。SCANDALやSILENT SIRENも出演したロックイベントNAONのYAONのキヤスティング・メディアディレクションは現在も担当。スポーツ事業も舵もっている。						
授業の学習 内容	音楽業界で即戦力として働く上での、基礎知識を学び、応用としてレコード会社、マネージメントとの課外プロジェクト授業を実施。 ・マネージメント(音楽プロダクション/芸能プロダクション) ・ライブ関連(ライブ制作会社/イベンター) ・レコード会社(宣伝/制作/販促) 上記3つの業種への就職に向けて、学校内外で学び、早い段階で業界を体験することで「考える力・発言する力」を養い、協調性と当事者意識(責任感)を身につける。仕事内容、必要とされる知識、現場でのネットワーク、より実学に近い、人間力を磨くことがゼミの目的。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■Step.1 「礼儀」「プレゼン能力」「資料作成」が確実にできることが目標 ■Step.2 「報連相」「pptでの提案・企画書作り」「発言力」が普通にできることが目標 ■Step.3 「コミュニケーション力」「積極性・自主性」「先を読む力」が外部プロジェクトで発揮できることが目標 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	時間外学習(学習課題)準備学習
1	05月18日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してイベントスキルを学ぶ	レポート
2	05月25日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してイベントスキルを学ぶ	レポート
3	06月01日	講義・演習	マネージャーの仕事・基礎編	報連相を考える(ワークシート)
4	06月08日	講義・演習	ライブの仕事・基礎編	ライブ会場とチケット料金をリサーチ(ワークシート)
5	06月15日	講義・演習	レコード会社の仕事・基礎編	レコード会社をリサーチ(ワークシート)
6	06月22日	講義・演習	プロジェクト学習・基礎編①	EPIC SONY・日音・avexをリサーチ(ワークシート)
7	06月29日	講義・演習	ヒットの定義・基礎編	ヒットを考える(ワークシート)
8	07月06日	講義・演習	メディアの役割・基礎編	重要なメディアを考える(ワークシート)
9	07月13日	講義・演習	マーケティングの役割・基礎編	ペルソナとは何かリサーチ(ワークシート)
10	07月20日	講義・演習	プロジェクト学習・基礎編②	EPIC SONY・日音・avexの課題を確認(ワークシート)
11	07月27日	講義・演習	プランニングの役割・基礎編	プランニングの必要性を考える(ワークシート)
12	08月17日	講義・演習	ファンクラブの仕事・基礎編	FCの役割を考える(ワークシート)
13	08月24日	講義・演習	音楽事務所と芸能事務所・基礎編	事務所(マネージメント)をリサーチ(ワークシート)
14	08月31日	講義・演習	レコード会社の制宣伝・基礎編	A&Rを考える(ワークシート)
15	09月14日	講義・演習	ファンクラブの運営・基礎編	FCの役割を考える(ワークシート)
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロジェクトマネジメント(2) プロジェクトマネジメントA(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	片岡慎太郎
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴	早稲田大学文学部卒業後、東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校 イベントプランナーコースへ進学、現在は医学会・式典・その他各種イベントの制作を担当。						
授業の学習 内容	イベントは1つ1つ個性のあるものであるが、自身にとって新たな局面に直面した時に「わからない」ではなく「こうしたらいい」と自身で解決案を考えられるように、イベント制作業の基本的な知識を講義する						
到達目標	学生自らが考えながらイベントを企画・制作・運営できるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月05日	講義・演習	イベント実践(we are)を通してイベントスキルを学ぶ	レポート
2	10月12日	講義・演習	イベント実践(we are)を通してイベントスキルを学ぶ	レポート
3	10月19日	講義・演習	運営のCue、運営ディレクターを理解する	ワークシート
4	11月09日	講義・演習	広報を理解する	ワークシート
5	11月16日	講義・演習	収入と支出を理解する	ワークシート
6	11月23日	講義・演習	企画書について理解する	ワークシート
7	11月30日	講義・演習	チェックリスト、ToDoリストについて理解する	ワークシート
8	12月07日	講義・演習	スケジュール管理を理解する①	ワークシート
9	12月14日	講義・演習	スケジュール管理を理解する②	ワークシート
10	12月21日	講義・演習	スケジュール管理を理解する③	ワークシート
11	01月18日	講義・演習	スケジュール管理を理解する④	ワークシート
12	01月25日	講義・演習	リスク管理について理解する	ワークシート
13	02月01日	講義・演習	スコープマネジメントを理解する	ワークシート
14	02月08日	講義・演習	(見やすい)資料作成について理解する	ワークシート
15	02月15日	講義・演習	テスト	ワークシート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロジェクトマネジメント(2) プロジェクトマネジメントB(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩谷 千里
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴	中央大学卒業後、イルカオフィス入社。マネージメントを経てレコード会社・東芝EMI(現ユニバーサル)では宣伝、制作を担当。吉川晃司やドリカムの宣伝プランナー、大黒摩季のチーフマネージャーとしても活躍。SCANDALやSILENT SIRENも出演したロックイベントNAONのYAONのキヤスティング・メディアディレクションは現在も担当。スポーツ事業も舵もっている。						
授業の学習 内容	音楽業界で即戦力として働く上での、基礎知識を学び、応用としてレコード会社、マネージメントとの課外プロジェクト授業を実施。 ・マネージメント(音楽プロダクション/芸能プロダクション) ・ライブ関連(ライブ制作会社/イベンター) ・レコード会社(宣伝/制作/販促) 上記3つの業種への就職に向けて、学校内外で学び、早い段階で業界を体験することで「考える力・発言する力」を養い、協調性と当事者意識(責任感)を身につける。仕事内容、必要とされる知識、現場でのネットワーク、より実学に近い、人間力を磨くことがゼミの目的。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■Step.1 「礼儀」「プレゼン能力」「資料作成」が確実にできることが目標 ■Step.2 「報連相」「pptでの提案・企画書作り」「発言力」が普通にできることが目標 ■Step.3 「コミュニケーション力」「積極性・自主性」「先を読む力」が外部プロジェクトで発揮できることが目標 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	時間外学習(学習課題)準備学習
1	10月05日	講義・演習	イベント実践(we are)を通してイベントスキルを学ぶ	レポート
2	10月12日	講義・演習	イベント実践(we are)を通してイベントスキルを学ぶ	レポート
3	10月19日	演習・講義	イベントを企画する・基礎編	日本のFESをリサーチ(ワークシート)
4	11月09日	講義・演習	ライブツアーを企画する・基礎編	6大都市の会場をリサーチ(ワークシート)
5	11月16日	講義・演習	ステージセッティング図作成・基礎編	ステージ編成を考える(ワークシート)
6	11月23日	講義・演習	業界ゲストを迎えて	質問事項の用意(ワークシート)
7	11月30日	講義・演習	プロジェクト学習③	EPIC SONY・日音・avexの課題を確認(ワークシート)
8	12月07日	講義・演習	アコースティック編成セッティング	セッティング図の用意(ワークシート)
9	12月14日	講義・演習	マネージャーはプロデューサー	仕事の幅をリサーチ(ワークシート)
10	12月21日	講義・演習	TVメディアとSNSの使い方	効果的なTV番組をリサーチ(ワークシート)
11	01月18日	講義・演習	イベントやライブの収支	概要書を事前作成(ワークシート)
12	01月25日	講義・演習	グッズ製作と収支	アイテムを事前準備(ワークシート)
13	02月01日	講義・演習	就職を考える(企業の絞り込み)・準備編	企業のリストアップ(ワークシート)
14	02月08日	講義・演習	就職を考える(ES/履歴書書き方)・準備編	履歴書の記入(ワークシート)
15	02月15日	講義・演習	後期のまとめ・発表	pptを事前にまとめる(ワークシート)
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロダクション実務(1) プロダクション実務A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石川金一郎
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴	PRISM、聖飢魔II、作曲家、林 哲司氏のマネージメントを行う						
授業の学習 内容	①音楽業界で働く為の知識を得る為 ②ライブイベント その他を成功させるため ③プロダクション レコード会社etcどこへ就職しても通用するスタッフに						
到達目標	マネジメント力を身につけ、社会人として創造力・自主性を持って行動できるような人材になる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
2	5月26日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
3	6月2日	講義・演習	音楽業界に就職するという事。心得。どういふ仕事をしていくのか理解する	音楽業界HAND BOOK P62～65 書き写し
4	6月9日	講義・演習	音楽業界の職種・プロダクションを理解する	音楽業界HAND BOOK P66～69 書き写し
5	6月16日	講義・演習	音楽業界の職種・レコード会社を理解する	音楽業界HAND BOOK P70～73 書き写し
6	6月23日	講義・演習	音楽業界の職種・イベンターを理解する	音楽業界HAND BOOK P74～77 書き写し
7	6月30日	講義・演習	音楽業界の職種・コンサート制作会社、ツアーマネージャーを理解する	音楽業界HAND BOOK P78～81 書き写し
8	7月7日	講義・演習	音楽業界の職種・出版社を理解する	音楽業界HAND BOOK P82～85 書き写し
9	7月14日	講義・演習	音楽業界の職種・ライブハウスを理解する	音楽業界HAND BOOK P86～89 書き写し
10	7月21日	講義・演習	音楽業界の職種・音響、照明、舞台を理解する	音楽業界HAND BOOK P90～93 書き写し
11	7月28日	講義・演習	音楽業界の職種・周辺作業の仕事の職種と関係性を理解する	音楽業界HAND BOOK P94～97 書き写し
12	8月18日	講義・演習	アーティストスケジュールの大まかな流れを知る。メジャーアーティストを理解する	音楽業界HAND BOOK P98～101 書き写し
13	8月25日	講義・演習	アーティストスケジュールの大まかな流れを知る。インディーズアーティストを理解する	音楽業界HAND BOOK P102～105 書き写し
14	9月1日	講義・演習	音楽のジャンルに関わり方も多種多様になる事を知る。	音楽業界HAND BOOK P106～109 書き写し
15	9月15日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 A&Rを理解する	音楽業界HAND BOOK P110～113 書き写し
準備学習 時間外学習			用語をしっかりと覚えるように書き写す	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロダクション実務(1) プロダクション実務B(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石川金一郎
	学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)		
教員の略歴	PRISM、聖飢魔II、作曲家、林 哲司氏のマネージメントを行う						
授業の学習 内容	①音楽業界で働く為の知識を得る為 ②ライブイベント その他を成功させるため ③プロダクション レコード会社etcどこへ就職しても通用するスタッフに						
到達目標	マネジメント力を身につけ、社会人として創造力・自主性を持って行動できるような人材になる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
2	5月26日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
3	6月2日	講義・演習	音楽業界に就職するという事。心得。どういふ仕事をしていくのか理解する	音楽業界HAND BOOK P62～65 書き写し
4	6月9日	講義・演習	音楽業界の職種・プロダクションを理解する	音楽業界HAND BOOK P66～69 書き写し
5	6月16日	講義・演習	音楽業界の職種・レコード会社を理解する	音楽業界HAND BOOK P70～73 書き写し
6	6月23日	講義・演習	音楽業界の職種・イベンターを理解する	音楽業界HAND BOOK P74～77 書き写し
7	6月30日	講義・演習	音楽業界の職種・コンサート制作会社、ツアーマネージャーを理解する	音楽業界HAND BOOK P78～81 書き写し
8	7月7日	講義・演習	音楽業界の職種・出版社を理解する	音楽業界HAND BOOK P82～85 書き写し
9	7月14日	講義・演習	音楽業界の職種・ライブハウスを理解する	音楽業界HAND BOOK P86～89 書き写し
10	7月21日	講義・演習	音楽業界の職種・音響、照明、舞台を理解する	音楽業界HAND BOOK P90～93 書き写し
11	7月28日	講義・演習	音楽業界の職種・周辺作業の仕事の職種と関係性を理解する	音楽業界HAND BOOK P94～97 書き写し
12	8月18日	講義・演習	アーティストスケジュールの大まかな流れを知る。メジャーアーティストを理解する	音楽業界HAND BOOK P98～101 書き写し
13	8月25日	講義・演習	アーティストスケジュールの大まかな流れを知る。インディーズアーティストを理解する	音楽業界HAND BOOK P102～105 書き写し
14	9月1日	講義・演習	音楽のジャンルに関わり方も多種多様になる事を知る。	音楽業界HAND BOOK P106～109 書き写し
15	9月15日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 A&Rを理解する	音楽業界HAND BOOK P110～113 書き写し
準備学習 時間外学習			用語をしっかりと覚えるように書き写す	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロダクション実務(2) プロダクション実務A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石川金一郎
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴	PRISM、聖飢魔II、作曲家、林 哲司氏のマネージメントを行う						
授業の学習 内容	①音楽業界で働く為の知識を得る為 ②ライブイベント その他を成功させるため ③プロダクション レコード会社etcどこへ就職しても通用するスタッフに						
到達目標	マネジメント力を身につけ、社会人として創造力・自主性を持って行動できるよう人材になる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
2	10月13日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
3	10月20日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 具体的な仕事を学ぶ	音楽業界HAND BOOK P110～113 書き写し
4	11月10日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 スケジュール管理について理解する	音楽業界HAND BOOK P114～117 書き写し
5	11月17日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 プロフィールの作成ができる	音楽業界HAND BOOK P118～121 書き写し
6	11月24日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 ホテル宿泊と食事の対応を理解する	音楽業界HAND BOOK P122～125 書き写し
7	12月1日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 動時の対応を理解する	音楽業界HAND BOOK P126～129 書き写し
8	12月8日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 経理精算を理解する	音楽業界HAND BOOK P130～133 書き写し
9	12月15日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 アーティストスケジュール組立て方を学ぶ	音楽業界HAND BOOK P134～137 書き写し
10	12月22日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 取材、ラジオ、TV、地方キャンペーン現場対応を理解する	音楽業界HAND BOOK P138～141 書き写し
11	1月12日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 ライブ、コンサートの実施要項、舞台基礎用語を理解する	音楽業界HAND BOOK P142～145 書き写し
12	1月19日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 ライブ、コンサートの1日の流れ	音楽業界HAND BOOK P146～149 書き写し
13	1月26日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 レコーディングの進行の仕方と現場用語を理解する	音楽業界HAND BOOK P150～153 書き写し
14	2月9日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 CD作成の流れ。ジャケット、レコーディングを理解する	音楽業界HAND BOOK P154～157 書き写し
15	2月16日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 fun club、マーチャンダイジングのビジネスを理解する	音楽業界HAND BOOK P158～161 書き写し
準備学習 時間外学習			用語をしっかりと覚えるように書き写す	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロダクション実務(2) プロダクション実務B(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石川金一郎
	学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)		
教員の略歴	PRISM、聖飢魔Ⅱ、作曲家、林 哲司氏のマネージメントを行う						
授業の学習 内容	①音楽業界で働く為の知識を得る為 ②ライブイベント その他を成功させるため ③プロダクション レコード会社etcどこへ就職しても通用するスタッフに						
到達目標	マネジメント力を身につけ、社会人として創造力・自主性を持って行動できるよう人材になる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
2	10月13日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
3	10月20日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 具体的な仕事を学ぶ	音楽業界HAND BOOK P110～113 書き写し
4	11月10日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 スケジュール管理について理解する	音楽業界HAND BOOK P114～117 書き写し
5	11月17日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 プロフィールの作成ができる	音楽業界HAND BOOK P118～121 書き写し
6	11月24日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 ホテル宿泊と食事の対応を理解する	音楽業界HAND BOOK P122～125 書き写し
7	12月1日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 動時の対応を理解する	音楽業界HAND BOOK P126～129 書き写し
8	12月8日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 経理精算を理解する	音楽業界HAND BOOK P130～133 書き写し
9	12月15日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 アーティストスケジュール組立て方を学ぶ	音楽業界HAND BOOK P134～137 書き写し
10	12月22日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 取材、ラジオ、TV、地方キャンペーン現場対応を理解する	音楽業界HAND BOOK P138～141 書き写し
11	1月12日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 ライブ、コンサートの実施要項、舞台基礎用語を理解する	音楽業界HAND BOOK P142～145 書き写し
12	1月19日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 ライブ、コンサートの1日の流れ	音楽業界HAND BOOK P146～149 書き写し
13	1月26日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 レコーディングの進行の仕方と現場用語を理解する	音楽業界HAND BOOK P150～153 書き写し
14	2月9日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 CD作成の流れ。ジャケット、レコーディングを理解する	音楽業界HAND BOOK P154～157 書き写し
15	2月16日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 fun club、マーチャンダイジングのビジネスを理解する	音楽業界HAND BOOK P158～161 書き写し
準備学習 時間外学習			用語をしっかりと覚えるように書き写す	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器/機材知識(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北 英樹
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	舞台監督・楽器テクニシャンとして活動						
授業の学習 内容	①様々な楽器の基礎知識についての講義及び実技 ②音楽が存在する科目全てに関連している ③楽器に興味を持ち授業に於いて基礎知識 様々な楽器の名称・構造・特徴・形・音色・セッティング方法・音の出し方等を習得する						
到達目標	音楽業界に就職する上で必ず必要になる楽器の知識を身につけ、細部にわたる機材名称 構造等を身につけ、答えられる様になる。楽器は大切に愛情を持って丁寧に扱うことができる。						
評価方法と基準	筆記または、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して劇中バンドのテックを学ぶ	授業日と授業時間を把握する
2	5月27日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して劇中バンドのテックを学ぶ	楽器の種類 楽器の特徴を調べる
3	6月3日	講義・演習	オリエンテーション 楽器の種類 楽器の特徴を理解する	DRUMSとは何か調べる
4	6月10日	講義・演習	楽器の種類 楽器の特徴を述べられるようになる	BassDrumとは何か調べる
5	6月17日	講義・演習	DRUMSについて理解する	SnareDrumとは何か調べる
6	6月24日	講義・演習	BassDrumについて理解する	Hi-HATとは何か調べる
7	7月1日	講義・演習	SnareDrumについて理解する	Hi-HATStandとは何か調べる
8	7月8日	講義・演習	Hi-HATについて理解する	3点とFloorTomとは何か調べる
9	7月15日	講義・演習	Hi-HATStandについて理解する	Tom Tomとは何か調べる
10	7月22日	講義・演習	3点とFloorTomについて理解する	Cymbalとは何か調べる
11	7月29日	講義・演習	Tom Tomについて理解する	DRUM全体のセッティングとは何か調べる
12	8月19日	講義・演習	Cymbalについて理解する	DRUM全体のメンテナンスとは何か調べる
13	8月26日	講義・演習	DRUMS全体のセッティングについて理解する	レポート提出
14	9月2日	講義・演習	DRUMSのメンテナンスについて理解する	レポート
15	9月16日	講義・演習	前期テスト	レポート
準備学習 時間外学習		準備学習 各授業のテーマを調べて下さい 時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器/機材知識(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北 英樹
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	舞台監督・楽器テクニシャンとして活動						
授業の学習 内容	①様々な楽器の基礎知識についての講義及び実技 ②音楽が存在する科目全てに関連している ③楽器に興味を持ち授業に於いて基礎知識 様々な楽器の名称・構造・特徴・形・音色・セッティング方法・音の出し方等を習得する						
到達目標	音楽業界に就職する上で必ず必要になる楽器の知識を身につけ、細部にわたる機材名称 構造等を身につけ、答えられる様になる。楽器は大切に愛情を持って丁寧に扱うことができる。						
評価方法と基準	筆記または、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してテックを学ぶ	レポート
2	10月14日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してテックを学ぶ	レポート
3	10月21日	講義・演習	電気について理解する	電気について調べる
4	11月11日	講義・演習	弦楽器について理解する	弦楽器について調べる
5	11月18日	講義・演習	GUITERについて理解する	GUITERについて調べる
6	11月25日	講義・演習	BASSについて理解する	BASSについて調べる
7	12月2日	講義・演習	AMPIについて理解する	GUITERT・BASS AMPについて調べる
8	12月9日	講義・演習	トランジスターAMPについて理解する	トランジスターAMPについて調べる
9	12月16日	講義・演習	真空管AMPについて理解する	真空管AMPについて調べる
10	1月6日	講義・演習	鍵盤楽器について理解する	鍵盤楽器について調べる
11	1月13日	講義・演習	鍵盤楽器アコースティックについて理解する	鍵盤楽器アコースティックについて調べる
12	1月20日	講義・演習	鍵盤電気楽器について理解する	鍵盤電気楽器について調べる
13	1月27日	講義・演習	複数の鍵盤楽器のセッティングについて理解する	鍵盤電気楽器の種類について調べる
14	2月10日	講義・演習	多く楽器の特徴について理解する	全ての楽器の種類について調べる
15	2月17日	講義・演習	後期テスト	レポート
準備学習 時間外学習		準備学習 各授業のテーマを調べて下さい 時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Music Business IT(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	新名佐和子
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	2008年よりフリーのイラストレーター、グラフィックデザイナー、アクセサリデザイナーとして活動している						
授業の学習 内容	社会においてIT知識、広告・宣伝は欠かせないものであり、消費者として普段からよく目にするものでもある。 この科目の受講者自身にはビジネスにおけるIT知識、広告宣伝に使えるデザインの基礎知識を習得してもらいたい。 講義では、ビジネスマナーとしてのIT知識を学び、基礎的な広告宣伝が行えるようなデザイン技術を、演習を中心に、制作現場で使用頻度の高いアプリケーションを用いて習得していく。						
到達目標	Wordの基本操作ができるようになる。(文書作成) Excelの基本操作ができるようになる。(表計算) Adobe Photoshopの基本操作ができるようになる。(レタッチ中心) Adobe Illustratorの基本操作ができるようになる。(ページ曲線操作、デザイン中心) Adobe InDesignの基本操作ができるようになる。(冊子作成)						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してデザインスキルを学ぶ	レポート
2	5月28日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してデザインスキルを学ぶ	レポート
3	6月4日	講義・演習	コンピュータに関する理解、Web検索、PhotoshopとIllustratorのちがいを理解 自己紹介を作成する	ツールを復習しながら自己紹介を完成させて次週提出(ワークシート)
4	6月11日	講義・演習	【Word】基礎技術習得、【Illustrator】文書作成&レイアウトWordとIllustratorのちがいを学ぶ	授業で学んだツールの復習をする(ワークシート)
5	6月18日	講義・演習	【Excel】基礎技術習得、請求書を作成する【Photoshop】選択範囲、レタッチ、フォトカラーズ、	レタッチの復習をする(ワークシート)
6	6月25日	講義・演習	【Illustrator】ページ曲線と図形、チラシ作成	次週続きから始められるように、考えを整える(ワークシート)
7	7月2日	講義・演習	【Photoshop】写真補正、拡大縮小、【Illustrator】チラシ作成、地図作成	授業での作品を完成させて次週提出(ワークシート)
8	7月9日	講義・演習	【Photoshop】【Illustrator】フライヤー作成(コンセプト～ラフ作成・色理解～提案)	次週続きから始められるように、考えを整える(ワークシート)
9	7月16日	講義・演習	【Photoshop】【Illustrator】フライヤー作成(レイアウトデザイン～ブラッシュアップ)	授業での作品を完成させて次週提出(ワークシート)
10	7月30日	講義・演習	【Photoshop】【Illustrator】名刺作成1 ラフ制作、ブラッシュアップ、素材収集	次週続きから始められるように、考えを整える(ワークシート)
11	8月20日	講義・演習	【Photoshop】【Illustrator】名刺作成2 デザイン作業	次週続きから始められるように名刺を仕上げる(ワークシート)
12	8月27日	講義・演習	【Photoshop】【Illustrator】名刺作成3 データ入稿の仕様を学ぶ	授業時間に学んだ入稿方法を実際に試して入稿する(ワークシート)
13	9月3日	講義・演習	【Photoshop】【Illustrator】【InDesign】冊子作成の基本を学ぶ	制作のために必要な素材を収集する(レポート)
14	9月10日	講義・演習	テスト解説、【Photoshop】【Illustrator】【InDesign】冊子完成、LINEスタンプ制作	次週のテストに備えこれまでの技術を復習する(レポート)
15	9月17日	講義・演習	到達度テスト、解説	苦手な部分、不明瞭な知識を把握し、補強する(レポート)
準備学習 時間外学習		時間外での学習や調べ物などで、PC操作をする時間を積極的に増やす		
【使用教科書・教材・参考書】				
Microsoft Word,Excel,Adobe Photoshop,Illustrator,InDesign				

科目名	Music Business IT(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 中山 高部 足立
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	(中山)作編曲家として活動。提供実績(SPEED Dream AKB48 乃木坂46 日向坂46 氷川きよし アニメ等 他多数) (高部)音楽映像作家として活動。テクニカルミュージック作家。過去に横浜アリーナWIRE10出演。学校関連の動画を全国的に担					
授業の学習 内容	パソコンの進化により、今まではレコーディングスタジオでのみ出来た作業が簡単にできるようになりました。ライブ用にサイズ変更したり、ラジオの完パケやスポットも作成できます。以上をふまえProToolsを使い、楽曲のサイズ変更をできるようにする。楽曲と効果音を使い、秒数指定のスポットを作成できるようにする。 動画編集の基礎知識。主にAdobe Premiere Proを使用。将来動画関連の仕事に関わるイメージ想像。 動画編集への苦手意識改善。動画を絡めたビジネスへの興味関心向上。					
到達目標	ProToolsの基本的知識。ProTools上でオーディオを扱うことの理解。 Adobe Premiere Proを使用し簡単な動画編集と書き出しを可能にする。 自分のビジネスと動画を絡める想像力。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	イベント実践(we are)を通して映像編集を学ぶ	レポート
2	10月15日	講義・演習	イベント実践(we are)を通して楽曲編集を学ぶ	レポート
3	10月22日	講義・演習	テレビデータ 素材の概念を理解する	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
4	11月5日	講義・演習	エディット画面の説明 エフェクトの概念を理解する	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
5	11月12日	講義・演習	演出効果の説明を理解する	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
6	11月19日	講義・演習	編集作業/書き出し方法を理解する	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
7	11月26日	講義・演習	音源の活用方法を理解する	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
8	12月3日	講義・演習	編集を理解する	課題提出(レポート)
9	12月10日	講義・演習	編集を完成させる	課題提出(レポート)
10	12月17日	講義・演習	音声ファイルの種類、セッション作成、トラック作成を理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
11	1月7日	講義・演習	ミキサー画面、エディット画面、各種ツールの機能、音源インポートを理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
12	1月14日	講義・演習	バウンス、エクスポート、メドレー作成を理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
13	1月21日	講義・演習	波形分割、サイズ変更を理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
14	1月28日	講義・演習	波形分割、サイズ変更(イレギュラーな楽曲)を理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
15	2月11日	講義・演習	エフェクトの各種説明を理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
準備学習 時間外学習		授業時間内の制作が中心で、授業時間内で終わらなかったものを準備学習とします。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	舞台概論(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	飯塚 幸之介
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	舞台制作・舞台監督として数々の現場を担当。最近では音楽とテクノロジーのコラボイベントJ-WAVE INNOVATION WORLD FESTAの舞台制作を立ち上げ時から担当						
授業の学習 内容	舞台についての基礎を学ぶ 上演されるものについての基礎を学ぶ スタッフの業務内容を学ぶ						
到達目標	舞台制作の基礎を身につける 舞台制作に必要な知識を理解する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	05月18日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台概論を学ぶ	レポート
2	05月25日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台概論を学ぶ	レポート
3	06月01日	講義・演習	オリエンテーション 考え方を学ぶ	レポート
4	06月08日	講義・演習	いろいろな資料の見方を学ぶ	レポート
5	06月15日	講義・演習	学園祭の準備① 企画を考える	事前に企画を考えておく
6	06月22日	講義・演習	学園祭の準備② 企画に沿った資料を作る	レポート
7	06月29日	講義・演習	学園祭の準備③ 当日に向けて準備をする	各自で具体的なイメージを考えておく
8	07月06日	講義・演習	学園祭のまとめ 来年に向けての反省会	事前に反省点などをまとめておく
9	07月13日	講義・演習	劇場・ホールの仕組みを学ぶ	行ったことのある会場の資料を調べておく
10	07月20日	講義・演習	スタッフの業務内容を理解する	レポート
11	07月27日	講義・演習	いろいろな図面を理解する	レポート
12	08月17日	講義・演習	タイムテーブルを理解する	レポート
13	08月24日	講義・演習	進行表・台本を理解する	レポート
14	08月31日	講義・演習	尺貫法を学ぶ。ものの大きさをイメージする	普段使っている物のサイズを測ってみる
15	09月14日	講義・演習	様々な公演スタイルの違いを理解する	経験したことのあるイベントをまとめておく
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	舞台概論(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	飯塚 幸之介
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	舞台制作・舞台監督として数々の現場を担当。最近では音楽とテクノロジーのコラボイベントJ-WAVE INNOVATION WORLD FESTAの舞台制作を立ち上げ時から担当						
授業の学習 内容	スタッフの業務内容を学ぶ						
到達目標	舞台を作り上げていく上での考え方を身につける 舞台上演前の準備が出来るようになる 協力して舞台の現場を作る力を身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月05日	講義・演習	イベント実践(we are)を通して舞台監督スキルを学ぶ	レポート
2	10月12日	講義・演習	イベント実践(we are)を通して舞台監督スキルを学ぶ	レポート
3	10月19日	講義・演習	公演資料の作り方①公演概要書の作成	前期で学んだことを予習する
4	11月09日	講義・演習	公演資料の作り方②図面を作成する	前期で学んだことを予習する
5	11月16日	講義・演習	公演資料の作り方③タイムテーブルを作成する	前期で学んだことを予習する
6	11月23日	講義・演習	公演資料の作り方④手配書を作成する	レポート
7	11月30日	講義・演習	演習①ある企画を元に事前の準備を演習する	レポート
8	12月07日	講義・演習	演習②ある企画を元に事前の準備を演習する	レポート
9	12月14日	講義・演習	演習③ある企画を元に事前の準備を演習する	レポート
10	12月21日	講義・演習	イベントの演出・進行プランを作成する	レポート
11	01月18日	講義・演習	イベントの打ち合わせ進行を学ぶ	レポート
12	01月25日	講義・演習	イベントの確認事項を打ち合わせする	レポート
13	02月01日	講義・演習	イベントに向けて理解力を高める	レポート
14	02月08日	講義・演習	イベントの成果をまとめる	レポート
15	02月15日	講義・演習	イベントの実践を通して舞台演出を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	舞台美術デザイン(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 高橋 英司 中村 友美 村上 薫 阿部 一郎
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	現場での美術キャリアの長い4名の講師がオムニバス形式で授業を進行して行きます。					
授業の学習 内容	①劇場やその他イベント会場等で、プロのスタッフと行動できるための最低限の基礎知識を身につける。					
到達目標	舞台劇場や製作会社等でのデザイン基礎、製作時に使用する道具の名称、使用方法を学ぶ2年生は1年生時に学んだことの 応用・発展を学ぶ。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	舞台美術応用①(舞台用語・尺貫法)	レポート・ワークシート
2	5月27日	講義・演習	舞台美術応用②(透視図法・パース)	課題・ワークシート
3	6月3日	講義・演習	部屋の平面図の作成	課題・ワークシート
4	6月10日	講義・演習	模型の作成①(基礎)	課題・ワークシート
5	6月17日	講義・演習	模型の作成②(応用)	課題・ワークシート
6	6月24日	講義・演習	音楽の課題デザイン①	課題・ワークシート
7	7月1日	講義・演習	音楽課題デザイン模型製作①	課題・ワークシート
8	7月8日	講義・演習	戯曲・テキストデザイン②	課題・ワークシート
9	7月15日	講義・演習	戯曲・テキスト課題デザイン模型製作②	課題・ワークシート
10	7月22日	講義・演習	応用実習①	レポート
11	7月29日	講義・演習	応用実習②	レポート
12	8月19日	講義・演習	応用実習③	レポート
13	8月26日	講義・演習	応用実習④	レポート
14	9月2日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してデザインスキルを学 ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してデザインスキルを学 ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
『8時だヨ！全員集合の作り方』山田満郎				

科目名	舞台美術デザイン(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 高橋 英司 中村 友美 村上 薫 阿部 一郎
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4.単位)	
教員の略歴	現場での美術キャリアの長い4名の講師がオムニバス形式で授業を進行して行きます。					
授業の学習 内容	①劇場やイベント会場で、プロのスタッフと行動できるための最低限の基礎知識を身につける。 ②デザインから製作までの流れの基礎からの応用、発展を理解する。 ③前期に学んだ事を踏まえた、実習授業(工具を使い道具等製作、学校行事やアクター公演協力、など)					
到達目標	舞台劇場や製作会社でのデザイン授業、製作に使用する道具の名称、使用方法を学ぶ。 2年生は1年生時に学んだことからの応用・発展を学ぶ					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	トリマーを使用した窓枠、装飾のデザイン	ワークシート
2	10月14日	講義・演習	トリマー・モールディングを使った製作実習	ワークシート
3	10月21日	講義・演習	扉のデザイン	ワークシート
4	11月11日	講義・演習	扉の製作実習	ワークシート
5	11月18日	講義・演習	和物建具の基礎とデザイン	ワークシート
6	11月25日	講義・演習	和物建具の製作実習	ワークシート
7	12月2日	講義・演習	ワゴン、引き枠、盆の構造・デザインについて	ワークシート
8	12月9日	講義・演習	ワゴン、引き枠、盆の構造製作と実習	ワークシート
9	12月16日	講義・演習	テーマ製作デザイン	ワークシート
10	1月6日	講義・演習	テーマ製作実習①	ワークシート
11	1月13日	講義・演習	テーマ製作デザイン②	ワークシート
12	1月20日	講義・演習	テーマ製作実習②	ワークシート
13	1月27日	講義・演習	テスト	ワークシート
14	2月10日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して美術デザインを学ぶ	ワークシート
15	2月17日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して美術デザインを学ぶ	ワークシート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Planning Advance(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 高田 雄貴
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	コンサート企画制作会社キョードー東京にてイベント・ツアー制作等を担当、独立後ライブ制作の他フジテレビお台場冒険王等のライブイベントの制作にも携わる					
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての立案知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての実践知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から日常の実務を習得する					
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを調査する事で音楽業界で就業する為の知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で音楽業界で即戦力となりうる為に必要な知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	時間の流れを企画する	レポート
2	5月27日	講義・演習	企画の基本を確認する	レポート
3	6月3日	講義・演習	企画の準備作業について理解する	レポート
4	6月10日	講義・演習	地域催事の企画立案を行う	地域で行われている年間催事の調査・レポート
5	6月17日	講義・演習	地域催事の企画立案を発表する	レポート
6	6月24日	講義・演習	野外フェスティバルの企画立案を行う	今年度開催される野外音楽フェスティバルの調査
7	7月1日	講義・演習	野外フェスティバルの企画立案を発表する	レポート
8	7月8日	講義・演習	ビジネスモデルと企画を理解する	レポート
9	7月15日	講義・演習	出演者をキャスティングするにはを理解する	音楽事業者協会と音楽制作者連盟についての調査を行う
10	7月22日	講義・演習	会場のタイプと仕組みを理解する	公益社団法人 全国公立文化施設協会についての調査を行う
11	7月29日	講義・演習	季節型催事の企画立案を行う	レジャー白書の調査
12	8月19日	講義・演習	季節型催事の企画立案を発表する	レポート
13	8月26日	講義・演習	企画と調査を理解する	レポート
14	9月2日	講義・演習	イベント実践を通してプランニング力を学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してプランニング力を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習		授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Planning Advance(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 高田 雄貴
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	コンサート企画制作会社キョードー東京にてイベント・ツアー制作等を担当、独立後ライブ制作の他フジテレビお台場冒険王等のライブイベントの制作にも携わる					
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける必須能力である、企画(プランニング)についての知識を用いて、プランニングの学習を行う [2] 音楽ビジネスの企画(プランニング)学習を通じてマーケットリサーチの学習を行う [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から企画実務の基本を学習する					
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で、業界人として必要なビジネスモデルを構築出来るようになる [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で、業界人として必要な提案力を構築出来るようになる [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で、業界人として必要な心構えを自信に変えられるようになる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	10月7日	講義・演習	ヒットの仕組みを知る	昨年飛び出したヒットの研究レポート	
2	10月14日	講義・演習	フェスティバル受けする出演者を知る	アーティストのランキングリスト作成	
3	10月21日	講義・演習	同世代の企画を検証する	大学リストの作成	
4	11月11日	講義・演習	全国の大学で開催されているイベント(学園祭)を調査する	学園祭イベント一覧調査レポート	
5	11月18日	講義・演習	企画を通すには(プレゼンテーション技術)を学ぶ	TEDの研究レポート	
6	11月25日	講義・演習	採用された企画を制作する(会議技法)	議事録ドリブン演習	
7	12月2日	講義・演習	採用された企画を制作する (ガントチャートによる作業進行管理技法)	レポート	
8	12月9日	講義・演習	予算の管理を考える	機材使用量の調査研究レポート	
9	12月16日	講義・演習	プロモーションについて検証する(広告と広報)	CM好感度調査レポート	
10	1月6日	講義・演習	企画における印刷媒体を理解する	新聞協会の研究レポート	
11	1月13日	講義・演習	企画は流行を読むことから始まることを学ぶ	SMBCコンサルティングの資料を検証	
12	1月20日	講義・演習	スポーツイベントのビジネスモデルを知る	東京オリンピック開催概要の調査	
13	1月27日	講義・演習	依頼型企画の立案とプレゼン方法を学ぶ	企画立案資料の準備収集	
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してプランニング力を学ぶ	準備レポートの提出	
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してプランニング力を学ぶ	実施レポートの作成	
準備学習 時間外学習		授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます			
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	WEB制作(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	小林日菜
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	大学卒業後0からwebやグラフィックデザインを学び、アシスタントとして案件に携わった後、制作会社にwebデザイナーとして従事。独立後現在はフリーランスのweb制作者。						
授業の学習 内容	日常の中で目にするwebサイトがどのような仕組みでつくられているかを理解し、要件定義・デザイン・コーディングの考え方と基礎技術を学ぶ。またデザインの考え方を通して、生活・仕事のあらゆる場面で活きる課題解決法を模索する。						
到達目標	webサイトを制作する技術を身につける。 課題解決の手段としてのデザイン思考を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してイベントスキルを学ぶ	レポート
2	5月27日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してイベントスキルを学ぶ	レポート
3	6月3日	講義・演習	webサイトの仕組み / デザインとは / PC環境の整備	ワークシートまたは参考スライド(復習用・授業で配布)
4	6月10日	講義・演習	webデザインの特徴 / webデザインの手順 / 目的・情報整理	ワークシートまたは参考スライド(復習用・授業で配布)
5	6月17日	講義・演習	デザイン制作基礎① 情報を整理し、デザインの構成、表現の方向性を考えることができる	ワークシートまたは参考スライド(復習用・授業で配布)
6	6月24日	講義・演習	デザイン制作基礎② 書体、文字組み、色、図やアイコンの基礎を理解し、状況に応じて考えることができる	ワークシートまたは参考スライド(復習用・授業で配布)
7	7月1日	講義・演習	デザイン制作基礎③ レイアウトの崩しの方法、あしらい、写真のトーンの基礎について理解し、状況に応じて考えることができる	ワークシートまたは参考スライド(復習用・授業で配布)
8	7月8日	講義・演習	デザイン制作基礎④ レスポンシブデザインについての基礎知識がある	ワークシートまたは参考スライド(復習用・授業で配布)
9	7月15日	講義・演習	コーディングとは / HTML・CSSとは ファイル構成、HTML、CSSとは何かを理解している	ワークシートまたは参考スライド(復習用・授業で配布)
10	7月22日	講義・演習	HTMLの基本的な書き方 HTMLの構造や書き方について理解し、基礎的な記述ができる	ワークシートまたは参考スライド(復習用・授業で配布)
11	7月29日	講義・演習	CSSの基本的な書き方 CSSの構造や書き方について理解し、基礎的な記述ができる	ワークシートまたは参考スライド(復習用・授業で配布)
12	8月19日	講義・演習	コーディング基礎① きれいなコードの書き方について理解し、header、footer、headの記述ができる	ワークシートまたは参考スライド(復習用・授業で配布)
13	8月26日	講義・演習	コーディング基礎② ページコンテンツの記述ができる	ワークシートまたは参考スライド(復習用・授業で配布)
14	9月2日	講義・演習	コーディング基礎③ レスポンシブサイトの記述ができる	ワークシートまたは参考スライド(復習用・授業で配布)
15	9月16日	講義・演習	テスト	ワークシートまたは参考スライド(復習用・授業で配布)
準備学習 時間外学習			ワークシートや授業のスライドを復習用として配布する。また、希望する場合は参考図書や記事などを与える。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	WEB制作(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	小林日菜
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	大学卒業後0からwebやグラフィックデザインを学び、アシスタントとして案件に携わった後、制作会社にwebデザイナーとして従事。独立後現在はフリーランスのweb制作者。						
授業の学習内容	日常の中で目にするwebサイトがどのような仕組みでつくられているかを理解し、要件定義・デザイン・コーディングの考え方や基礎技術を学ぶ。またデザインの考え方を通して、生活・仕事のあらゆる場面で活きる課題解決法を模索する。						
到達目標	webサイトを制作する技術を身につける。 課題解決の手段としてのデザイン思考を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	イベント実践(we are)を通してWebスキルを学ぶ	レポート
2	10月14日	講義・演習	イベント実践(we are)を通してWebスキルを学ぶ	レポート
3	10月21日	講義・演習	前期の復習	前期の復習(レポート)
4	11月11日	講義・演習	デザイン制作応用① ヒアリングからwebサイトに載せる。情報の整理をし、構成と表現の方向性を決めることができる	参考スライドまたはデザインコンポーネント(復習、参考用・授業で配布)
5	11月18日	講義・演習	デザイン制作応用② レイアウトを決め、適切な書体や文字組、色、図やアイコンを使用することができる	参考スライドまたはデザインコンポーネント(復習、参考用・授業で配布)
6	11月25日	講義・演習	デザイン制作応用③ レイアウトを適切に変化させ、あしらいや意図にあった写真の加工を加えることができる	参考スライドまたはデザインコンポーネント(復習、参考用・授業で配布)
7	12月2日	講義・演習	デザイン制作応用④ ③までのデザインをスマホ版に展開できる	参考スライドまたはデザインコンポーネント(復習、参考用・授業で配布)
8	12月9日	講義・演習	デザイン発表	プレゼン準備
9	12月16日	講義・演習	コーディング応用① 制作したデザインの実装ができる	参考スライドまたはコーディングコンポーネント(復習、参考用・授業で配布)
10	1月6日	講義・演習	コーディング応用② 制作したデザインの実装ができる	参考スライドまたはコーディングコンポーネント(復習、参考用・授業で配布)
11	1月13日	講義・演習	コーディング応用③ レスポンス対応ができる、公開の手順がわかる	参考スライドまたはコーディングコンポーネント(復習、参考用・授業で配布)
12	1月20日	講義・演習	コーディング応用④ CSSアニメーションを理解し、適用することができる	参考スライドまたはコーディングコンポーネント(復習、参考用・授業で配布)
13	1月27日	講義・演習	心理学とデザイン 簡単な心理学に触れた上で、より合理的なデザインを制作する方法を理解する	参考スライド
14	2月10日	講義・演習	マネジメントとデザイン思考 課題の本質を捉えよりよい解決手段を模索するためのデザイン思考を、マネジメントの現場に活かす方法を模索する	参考スライド
15	2月17日	講義・演習	テスト	ワークシート
準備学習 時間外学習			授業のスライドまたはコンポーネントデータを復習・参考用として配布する。また、希望する場合は参考図書や記事などを与える。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Design Advance(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	岩越 敦彦
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	●国立大学法人東京学芸大学大学院修了教育学修士●学校法人多摩美術大学卒業●元ソード電算機システム正社員●現メディアデザイナー兼ライター、東京学芸大学講師として活動						
授業の学習 内容	●この授業の守備範囲としては大きくわけて2つあり、印刷原稿制作の技術習得と、デザイン理論の習得がある。●これらにより、印刷知識と操作知識、デザイン理論とデザイン技法を組み合わせ、缶バッジからフライヤー、さらにページ数の多い冊子まで、「魅力的」で「わかりやすく」、「目立つ」デザインを備えた制作物を作るトレーニングをする。						
到達目標	●音楽業界をはじめとする色々なショウビジネス界で、PR用や告知用に流通している視覚伝達アイテム＝各種印刷物や電子書籍が作れる力をつける。●デジタルデザインの基本操作を学ぶと同時に、人に訴えかける心理法則やデザインノウハウを覚える。●授業で行うデザイン作業に関しては、生まれつきのセンスではなく、「ルールに見えるルール」を覚えて使う。●これにより、もともと美的センスを持ちあわせていない者でも、独力で、見栄えのするデザインを作り上げられる技術を身につけることを目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してデザインプランを学ぶ	レポート
2	5月27日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してデザインプランを学ぶ	レポート
3	6月3日	講義・演習	1年次のデザイン修得度の確認	1年次の作品を整理(ワークシート)
4	6月10日	講義・演習	個々の弱点克服の演習	1年次の作品を校正・修正(ワークシート)
5	6月17日	講義・演習	デザインと秩序についての実習	良いデザイン例を見つけておく(ワークシート)
6	6月24日	講義・演習	印刷知識とデータ作りの定石	印刷会社のHPを検索しておく(ワークシート)
7	7月1日	講義・演習	ポストカードの制作1	カードのテーマを考えておく(ワークシート)
8	7月8日	講義・演習	ポストカードの制作2	画像素材とコピーを用意しておく(ワークシート)
9	7月15日	講義・演習	フライヤーデザインの定石 視認性 可読性	フライヤーデザイン例を検索しておく(ワークシート)
10	7月22日	講義・演習	フライヤーの制作1	フライヤーのテーマを考えておく(ワークシート)
11	7月29日	講義・演習	フライヤーの制作2	画像素材とコピーを用意しておく(ワークシート)
12	8月19日	講義・演習	フライヤーの制作3	校正しておく 印刷する(レポート)
13	8月26日	講義・演習	色彩学の知識とロゴマークの企画	マークのプランを考えておく(レポート)
14	9月2日	講義・演習	ロゴマークの制作	細部を修正しておく 印刷する(レポート)
15	9月16日	講義・演習	名刺の制作	印刷する(レポート)
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
各種ホームページ、講師制作によるプリント、講師による板書				

科目名	Design Advance(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 岩越 敦彦
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	●国立大学法人東京学芸大学大学院修了教育学修士●学校法人多摩美術大学卒業●元ソード電算機システム正社員●現メディアデザイナー兼ライター、東京学芸大学講師として活動					
授業の学習 内容	●この授業の守備範囲としては大きくわけて2つあり、印刷原稿制作の技術習得と、デザイン理論の習得がある。●これらにより、印刷知識と操作知識、デザイン理論とデザイン技法を組み合わせ、缶バッジからフライヤー、さらにページ数の多い冊子まで、「魅力的」で「わかりやすく」、「目立つ」デザインを備えた制作物を作るトレーニングをする。					
到達目標	●音楽業界をはじめとする色々なショウビジネス界で、PR用や告知用に流通している視覚伝達アイテム＝各種印刷物や電子書籍が作れる力をつける。●デジタルデザインの基本操作を学ぶと同時に、人に訴えかける心理法則やデザインノウハウを覚える。●授業で行うデザイン作業に関しては、生まれつきのセンスではなく、「クールに見えるルール」を覚えて使う。●これにより、もともと美的センスを持ちあわせていない者でも、独力で、見栄えのするデザインを作り上げられる技術を身につけることを目指す。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	イベント実践(we are)を通してデザインスキルを学ぶ	レポート
2	10月14日	講義・演習	イベント実践(we are)を通してデザインスキルを学ぶ	レポート
3	10月21日	講義・演習	冊子知識とページ物の制作	テーマを覚えておく ラフを仕上げる(ワークシート)
4	11月11日	講義・演習	ページ物の制作1	画像素材を集めておく(レポート)
5	11月18日	講義・演習	ページ物の制作2	コピーを書いておく(レポート)
6	11月25日	講義・演習	ページ物の制作3	校正をしておく 印刷する(レポート)
7	12月2日	講義・演習	ページ物の制作4	校正をしておく 製本する(レポート)
8	12月9日	講義・演習	変則的なレイアウトの演習	CDテーマを覚えておく(レポート)
9	12月16日	講義・演習	CD盤面、缶バッジ等丸いデザイン	作品を仕上げておく(レポート)
10	1月6日	講義・演習	ペーパークラフト状の印刷物	テーマを覚えておく ラフを仕上げる(レポート)
11	1月13日	講義・演習	電子書籍の予備知識	テーマを覚えておく ラフを仕上げる(レポート)
12	1月20日	講義・演習	電子書籍の制作1	画像素材を集めておく(レポート)
13	1月27日	講義・演習	電子書籍の制作2	コピーを書いておく(レポート)
14	2月10日	講義・演習	電子書籍の制作3	校正をしておく(レポート)
15	2月17日	講義・演習	電子書籍のテスト販売	販売サイトをチェックしておく(レポート)
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vectorworks Advance(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 矢吹百合子
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	舞台美術デザイナー(Vectorworks使用) コンサートのセットデザインを中心に活動					
授業の学習 内容	業界内においては、スタッフはVectorworksを扱える事が最早必須事項となっています。 高度な設計シミュレーションソフトであるVectorworksについて学び、スキルを身に着けることで、業界への就業の間口を広く する事が出来ます。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■Vectorworksはどのようなソフトかを理解する ■平面図を書けるようになる ■測量したものをコンピュータで図面化出来る ■劇場設備について理解出来るようになる ■図面に描かれていることを理解できる 					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	イベント実践を通して作図を学ぶ	レポートの提出
2	5月29日	講義・演習	イベント実践を通して作図を学ぶ	レポートの提出
3	6月5日	講義・演習	自己紹介～Vectorworksの仕組み・システムの解説から使用方法を理解する	課題を与える
4	6月12日	講義・演習	使用ソフトの基本説明を行い基本の操作方法を学ぶ	図面作成/レポート
5	6月19日	講義・演習	2Dシミュレーションの基本(1)2Dシミュレーションの基礎の作図方法を学ぶ	図面作成/レポート
6	6月26日	講義・演習	学園祭図面作成(1)会場測量を行い実物と縮尺の違いを学ぶ	図面作成/レポート
7	7月3日	講義・演習	学園祭図面作成(2)測量した会場の作図を行う舞台のツールを学ぶ	図面作成/レポート
8	7月10日	講義・演習	学園祭図面作成(3)測量した会場の作図を行うステージ・パトンの書き方を学ぶ	図面作成/レポート
9	7月31日	講義・演習	劇場の図面作成(1)劇場の設備を理解する	図面作成/レポート
10	8月21日	講義・演習	劇場の図面作成(2)実際の劇場図面を作図し劇場機構の仕組みを学ぶ	図面作成/レポート
11	8月28日	講義・演習	製作物のデザインと図面作成(1)平面図を書く事ができる	図面作成/レポート
12	9月4日	講義・演習	製作物のデザインと図面作成(2)セットデザインを実際の劇場に当て込み検証し理解する	図面作成/レポート
13	9月11日	講義・演習	明日への扉 図面作成(1)ミュージカルの舞台図面を書き起こす	図面作成/レポート
14	9月18日	講義・演習	明日への扉 図面作成(2)ミュージカルの舞台図面を作図する	図面作成/レポート
15	9月28日	講義・演習	明日への扉 図面作成(3)舞台図面を仕込み図に変換する方法を学ぶ	図面作成/レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vectorworks Advance(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	矢吹百合子
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	舞台美術デザイナー(Vectorworks使用) コンサートのセットデザインを中心に活動						
授業の学習 内容	業界内においては、スタッフはVectorworksを扱える事が最早必須事項となっています。 高度な設計シミュレーションソフトであるVectorworksについて学び、スキルを身に着けることで、業界への就業の間口を広くする事が出来ます。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■Vectorworksはどのようなソフトかを理解する ■平面図を書けるようになる ■測量したものをコンピュータで図面化出来る ■劇場設備について理解出来るようになる ■図面に描かれていることを理解できる 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベント実践を通して作図を学ぶ	レポートの提出
2	10月16日	講義・演習	イベント実践を通して作図を学ぶ	レポートの提出
3	10月23日	講義・演習	ハロウインの装飾デザイン(1) ハロウイン装飾のデザインを考案する	図面作成/レポート
4	11月6日	講義・演習	ハロウインの装飾デザイン(2) ハロウイン装飾の作図し模擬コンペを行う	図面作成/レポート
5	11月13日	講義・演習	3Dシミュレーションの基本(2)3Dへの変換方法を学び実際に図面を作成する	図面作成/レポート
6	11月20日	講義・演習	3Dシミュレーションのまとめ(1)3Dの見え方を学ぶ 光源による見え方の違いを理解する	図面作成/レポート
7	11月27日	講義・演習	劇場の3D作成(1)実際の劇場を2Dから3Dに立ち上げる方法を学ぶ	図面作成/レポート
8	12月4日	講義・演習	劇場の3D作成(2) 3D変換された図面の検証方法を学ぶ	図面作成/レポート
9	12月11日	講義・演習	劇場の3D作成(3) 検証結果を基に総合的なイメージを作る	図面作成/レポート
10	12月18日	講義・演習	3Dシミュレーションのまとめ(2)テクスチャ設定を行い説得力のあるレンダリング結果を得る方法を学ぶ	図面作成/レポート
11	1月8日	講義・演習	クリスマスの装飾デザイン(1) 2Dでデザインと設計図を作る方法を学ぶ	図面作成/レポート
12	1月15日	講義・演習	クリスマスの装飾デザイン(2) 2D→3Dモデリングの編集方法を学ぶ	図面作成/レポート
13	1月22日	講義・演習	We are TSMIに向けて 装飾デザイン プレゼンボードの作成方法を学ぶ	図面作成/レポート
14	1月29日	講義・演習	We are TSMIに向けて 図面作成(1) 実際にイベントで使用する劇場の平面図を作図する。	図面作成/レポート
15	2月12日	講義・演習	We are TSMIに向けて 図面作成(2) 実際にイベントで使用する仕込み図面を作図する。	図面作成/レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(3) Concert Stage Technique(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	井上陽介
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴	様々なアーティストの舞台監督を務める。舞台監督業10年以上						
授業の学習 内容	舞台制作、進行、演出、施工等を講義と実践的に学び、体験しそれぞれ自分の目的や適合性を考える。現場のシミュレーション体験を通じて社会のルールやマナー、チームワークや厳しさ、楽しさを学ぶ事を目指します。						
到達目標	授業を通じて団体行動、情報収集、技術的な能力を身に付け、スキルアップを目指す。また細分化された業種の中から自分に何が合っているかを見つける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台業務を学ぶ	レポートの提出
2	5月26日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台業務を学ぶ	レポートの提出
3	6月2日	講義・演習	オリエンテーション、コミュニケーション、注意事項、軽作業、概要説明	生徒同士での情報交換、コミュニケーション
4	6月9日	講義・演習	舞台の業務内容、危険回避、事故例などを知り、理解する	資料の整理、作成
5	6月16日	講義・演習	資料の作成、過去のイベントの資料整理や確認する	資料の整理、作成
6	6月23日	講義・演習	外部ホールの予習、資料作り 舞台の基本を理解する	資料の整理、作成
7	6月30日	講義・演習	外部ホール 実際の舞台機構を理解する	工具や必要品の準備など
8	7月7日	講義・演習	外部ホールの復習し、理解を深める	課題の確認、不明点の確認など
9	7月14日	講義・演習	外部ホールの課題を確認する	工具や必要品の準備など
10	7月21日	講義・演習	校内イベントを通して資料を制作する	資料の整理、作成
11	7月28日	講義・演習	校内イベントの振り返りし、理解を深める	課題の確認、不明点の確認など
12	8月18日	講義・演習	外部ホールの予習、資料作り 舞台機構の応用を理解する	資料の整理、作成
13	8月25日	講義・演習	外部ホール 実際の舞台での作業をする	工具や必要品の準備など
14	9月1日	講義・演習	外部ホールの課題確認をし、問題点をあげる	課題の確認、不明点の確認など
15	9月15日	講義・演習	テスト	課題の確認、不明点の確認など
準備学習 時間外学習			「先を読む」ということを身につける。「なぜその資料が必要なのか」を理解し、制作に当たる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(3) Concert Work Technique(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	江見 千尋
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴	イベンターとして仕事をスタートし、その後 舞台監督、舞台照明などの業務に携わる						
授業の学習 内容	舞台、イベントなどをより深く知るために実習作業を基本にして授業を進めていく。 自分自身の力でイベントを制作することにより、座学だけでは得ることの出来ない「気付き」を体感する。						
到達目標	イベント制作の知識を会得し、能動的に物事を動かすことができるようになる。 チーム内&他セクションとのコミュニケーションを大切に、やるべき事をチームで進めていくことができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	チーム編成、スケジュールの確認など イベント制作における必要物について	チームの為の資料作成
2	5月26日	講義・演習	イベントの概念と概要書 主催について理解する	チームごとに担当イベントの概要書作成
3	6月2日	講義・演習	外部ホールにおけるホールの仕組み 次回イベントのミーティング	バンド イベント事前ミーティング(資料制作)
4	6月9日	講義・演習	ホール資料をもとに運営プランを考える 学内イベント対応	オムニバスLIVEの資料制作
5	6月16日	講義・演習	基本的な舞台知識について 舞台の機構や物の名称(照明)を理解する	舞台用語についての課題
6	6月23日	講義・演習	外部ホールにおけるホールの使い方 舞台の流れ、段取りについて	外部ホールの構造理解
7	6月30日	講義・演習	イベントのタイムテーブルを理解する	課題イベントのタイムテーブル作成
8	7月7日	講義・演習	外部ホールでの運営について イベントの企画立案について	外部ホールでの運営マニュアル作成
9	7月14日	講義・演習	図面について(使い方、作成方法)	課題イベントの図面を作成する
10	7月21日	講義・演習	外部ホールでの打ち合わせについて 次回イベントについてのミーティング	次回イベントの資料作成
11	7月28日	講義・演習	学内イベント対応/次回イベントについてミーティング 本番の進行について理解する	自由企画の資料を作成する
12	8月18日	講義・演習	学内イベント対応/次回イベントについてミーティング リハーサルについて理解する	LIVEイベントの資料作成
13	8月25日	講義・演習	定期テスト(舞台、運営について)	課題イベントの進行表を作成する
14	9月1日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して運営業務を学ぶ	レポートの提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して運営業務を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			必要理由の確認と、明解さのある資料を心がける	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	井上陽介
	Concert Stage Technique(4)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴	様々なアーティストの舞台監督を務める 舞台監督業10年以上						
授業の学習 内容	舞台制作、進行、演出、施工等を講義と実習にて学び、体験しそれぞれ自分の目的や適合性を考える 現場のシミュレーション体験を通じて社会のルールやマナー、チームワークや厳しさ、楽しさを学ぶ事を目指します						
到達目標	授業を通じて団体行動、情報収集、技術的な能力を身に付け、スキルアップを目指す また細分化された業種の中から自分に何が合っているかを見つける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して舞台業務を学ぶ	レポートの提出
2	10月15日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して舞台業務を学ぶ	レポートの提出
3	10月29日	講義・演習	前期の復習 校内イベントに向けたチーム分け	課題の確認、不明点の確認
4	11月12日	講義・演習	校内イベント資料制作 工具を理解する	工具や必要品の準備
5	11月19日	講義・演習	校内イベント 実践的に学ぶ	資料の整理、作成
6	11月26日	講義・演習	校内イベントの振り返りをし問題点を理解する	課題の確認、不明点の確認
7	12月3日	講義・演習	外部ホール 実際の舞台機構を触る	工具や必要品の準備
8	12月10日	講義・演習	外部ホールの復習をし、想定される危険を理解する	課題の確認、不明点の確認
9	12月17日	講義・演習	校内イベントを通して資料制作を行う	工具や必要品の準備
10	1月7日	講義・演習	校内イベントを実践的に行い個々のレベルを知る	資料の整理、作成
11	1月14日	講義・演習	校内イベントの反省点をプレゼンテーションする	課題の確認、不明点の確認
12	1月21日	講義・演習	ホール実習の予習、資料作り 舞台の基本を説明できるようにする	資料の整理、作成
13	1月28日	講義・演習	外部ホール 実際の舞台にて構造を理解する	工具や必要品の準備など
14	2月11日	講義・演習	外部ホールの復習し、演出を考える	課題の確認、不明点の確認など
15	2月18日	講義・演習	テスト	課題の確認、不明点の確認など
準備学習 時間外学習			「先を読む」ということを身につける。「なぜその資料が必要なのか」を理解し、制作に当たる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(4) Concert Work Technique(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	江見 千尋
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴	イベンターとして仕事をスタートし、その後 舞台監督、舞台照明などの業務に携わる						
授業の学習 内容	舞台、イベントなどをより深く知るために実習作業を基本にして授業を進めていく。 自分自身の力でイベントを制作することにより、座学だけでは得ることの出来ない「気付き」を体感する。						
到達目標	イベント制作の知識を会得し、能動的に物事を動かすことができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	スケジュールの確認など 前期の振り返り/次回イベントに関するミーティング	イベント事前ミーティング(資料制作)
2	10月13日	講義・演習	学内イベント対応 LIVEイベントのプロモーションについて	LIVEの事前ミーティング
3	10月20日	講義・演習	企画のコンセプトについて考える	LIVEの資料作成
4	11月10日	講義・演習	イベントの動員について	次回イベントの資料作成
5	11月17日	講義・演習	外部イベント対応/次回イベントについてミーティング 運営について…役割分担の重要性を理解する	イベント事前ミーティング(資料制作)
6	11月24日	講義・演習	学内イベント対応 運営マニュアルの作成について	進級制作展の運営マニュアル作成
7	12月1日	講義・演習	次回イベントについてのミーティング チケット業務について	次回イベントの資料作成
8	12月8日	講義・演習	学内イベント対応 外部ライブハウスでの運営業務について	オリジナルイベントの企画作成
9	12月15日	講義・演習	進級制作展の事前ミーティング	資料制作(制作資料・運営資料)
10	12月22日	講義・演習	進級制作展 終了報告会	進級制作展 終了報告書
11	1月12日	講義・演習	進行台本を理解する	資料制作(制作資料・運営資料・舞台資料)
12	1月19日	講義・演習	学内イベント対応 外部ホールでの運営業務について考える	次回外部ホールでのイベントの資料作成
13	1月26日	講義・演習	定期テスト(進行、制作、運営について)	資料制作(制作資料・運営資料・舞台資料)
14	2月9日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して運営業務を学ぶ	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して運営業務を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		必要理由の確認と、明解さのある資料を心がける		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロジェクトマネジメント(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岩谷 千里
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科						
教員の略歴	中央大学卒業後、イルカオフィス入社。マネージメントを経てレコード会社・東芝EMI(現ユニバーサル)では宣伝、制作を担当。吉川晃司やドリカムの宣伝プランナー、大黒摩季のチーフマネージャーとしても活躍。SCANDALやSILENT SIRENも出演したロックイベントNAONのYAONのキャスティング・メディアディレクションは現在も担当。スポーツ事業も起ち上げている。						
授業の学習 内容	音楽業界で即戦力として働く上での、基礎知識を学び、応用としてレコード会社、マネージメントとの課外プロジェクト授業を実施。 ・マネージメント(音楽プロダクション/芸能プロダクション) ・ライブ関連(ライブ制作会社/イベンター) ・レコード会社(宣伝/制作/販促) 上記3つの業種への就職に向けて、学校内外で学び、早い段階で業界を体験することで「考える力・発言する力」を養い、協調性と当事者意識(責任感)を身につける。仕事内容、必要とされる知識、現場でのフットワーク、より実学に近い、人間力を磨くことがゼミの目的。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■Step.1 「礼儀」「プレゼン能力」「資料作成」が確実にできることが目標 ■Step.2 「報連相」「pptでの提案・企画書作り」「発言力」が普通にできることが目標 ■Step.3 「コミュニケーション力」「積極性・自主性」「先を読む力」が外部プロジェクトで発揮できることが目標 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	時間外学習(学習課題)準備学習
1	05月18日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してイベントスキルを学ぶ	レポート
2	05月25日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してイベントスキルを学ぶ	レポート
3	06月01日	講義・演習	マネージャーの仕事・応用編	報連相+現場で意識すること(ワークシート)
4	06月08日	講義・演習	ライブの仕事・応用編	ライブ会場とチケット料金、ツアー行程(ワークシート)
5	06月15日	講義・演習	レコード会社の仕事・応用編	レコード会社のリストアップ(ワークシート)
6	06月22日	講義・演習	プロジェクト学習・応用①	EPIC SONY・日音・avexの資料作成(ワークシート)
7	06月29日	講義・演習	ヒットの定義・応用編	ヒットを考える、それぞれのヒット感(ワークシート)
8	07月06日	講義・演習	メディアの役割・応用編	重要なメディアとその効果(ワークシート)
9	07月13日	講義・演習	マーケティングの役割・応用編	ペルソナの必要性と作成(ワークシート)
10	07月20日	講義・演習	プロジェクト学習・応用②	EPIC SONY・日音・avexの資料作成(ワークシート)
11	07月27日	講義・演習	プランニングの役割・応用編	プランニングの構築(ワークシート)
12	08月17日	講義・演習	ファンクラブの仕事・応用編	FCの役割と運営(ワークシート)
13	08月24日	講義・演習	音楽事務所と芸能事務所・応用編	事務所(マネージメント)をリサーチ(ワークシート)
14	08月31日	講義・演習	レコード会社の制宣販・応用編	A&Rの仕事进行分析(ワークシート)
15	09月14日	講義・演習	ファンクラブの運営・応用編	FCの役割を考える(ワークシート)
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロジェクトマネジメント(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 岩谷 千里
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	中央大学卒業後、イルカオフィス入社。マネージメントを経てレコード会社・東芝EMI(現ユニバーサル)では宣伝、制作を担当。吉川晃司やドリカムの宣伝プランナー、大黒摩季のツアーマネージャーとしても活躍。SCANDALやSILENT SIRENも出演したロックイベントNAONのYAONのキャスティング・メディアディレクションは現在も担当。スポーツ事業も起ち上げている。					
授業の学習 内容	音楽業界で即戦力として働く上での、基礎知識を学び、応用としてレコード会社、マネージメントとの課外プロジェクト授業を実施。 ・マネージメント(音楽プロダクション/芸能プロダクション) ・ライブ関連(ライブ制作会社/イベンター) ・レコード会社(宣伝/制作/販促) 上記3つの業種への就職に向けて、学校内外で学び、早い段階で業界を体験することで「考える力・発言する力」を養い、協調性と当事者意識(責任感)を身につける。仕事内容、必要とされる知識、現場でのフットワーク、より実学に近い、人間力を磨くことがゼミの目的。					
到達目標	■Step.1 「礼儀」「プレゼン能力」「資料作成」が確実にできることが目標 ■Step.2 「報連相」「pptでの提案・企画書作り」「発言力」が普通にできることが目標 ■Step.3 「コミュニケーション力」「積極性・自主性」「先を読む力」が外部プロジェクトで発揮できることが目標					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価					

授業計画・内容授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	時間外学習(学習課題)準備学習
1	10月05日	講義・演習	イベント実践(we are)を通してイベントスキルを学ぶ	レポート
2	10月12日	講義・演習	イベント実践(we are)を通してイベントスキルを学ぶ	レポート
3	10月19日	演習・講義	イベントを企画・応用編	FESの動員数と魅力を考える(ワークシート)
4	11月09日	講義・演習	ライブツアーを企画・応用編	6大都市のツアー行程と収支(ワークシート)
5	11月16日	講義・演習	ステージセッティング図作成・応用編	ステージ編成を考える(ワークシート)
6	11月23日	講義・演習	業界ゲストを迎えて	質問事項の用意(ワークシート)
7	11月30日	講義・演習	プロジェクト学習③	EPIC SONY・日音・avexの課題を確認(ワークシート)
8	12月07日	講義・演習	バンド編成セッティング	セッティング図の用意(ワークシート)
9	12月14日	講義・演習	マネージャーはプロデューサー	仕事の幅をリサーチ(ワークシート)
10	12月21日	講義・演習	TVメディアとSNSで宣伝展開	具体的なイメージ(ワークシート)
11	01月18日	講義・演習	イベントやライブの必須資料	概要書を事前作成(ワークシート)
12	01月25日	講義・演習	グッズ製作と収支	数字を意識(ワークシート)
13	02月01日	講義・演習	プロジェクトへの新規提案	課題リストアップ(ワークシート)
14	02月08日	講義・演習	就活のまとめ	レポートのまとめ(ワークシート)
15	02月15日	講義・演習	後期のまとめ・発表	pptを事前にまとめる(ワークシート)
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロダクション実務(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石川金一郎
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	PRISM、聖飢魔II、作曲家、林 哲司氏のマネージメントを行う						
授業の学習 内容	①音楽業界で働く為の知識を得る為 ②ライブイベント その他を成功させるため ③プロダクション レコード会社etcどこへ就職しても通用するスタッフに						
到達目標	マネジメント力を身につけ、社会人として創造力・自主性を持って行動できるような人材になる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
2	5月26日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
3	6月2日	講義・演習	音楽業界に就職するという事。心得。どういふ仕事をしていくのか理解する	音楽業界HAND BOOK P62～65 書き写し
4	6月9日	講義・演習	音楽業界の職種・プロダクションを理解する	音楽業界HAND BOOK P66～69 書き写し
5	6月16日	講義・演習	音楽業界の職種・レコード会社を理解する	音楽業界HAND BOOK P70～73 書き写し
6	6月23日	講義・演習	音楽業界の職種・イベンターを理解する	音楽業界HAND BOOK P74～77 書き写し
7	6月30日	講義・演習	音楽業界の職種・コンサート制作会社、ツアーマネージャーを理解する	音楽業界HAND BOOK P78～81 書き写し
8	7月7日	講義・演習	音楽業界の職種・出版社を理解する	音楽業界HAND BOOK P82～85 書き写し
9	7月14日	講義・演習	音楽業界の職種・ライブハウスを理解する	音楽業界HAND BOOK P86～89 書き写し
10	7月21日	講義・演習	音楽業界の職種・音響、照明、舞台を理解する	音楽業界HAND BOOK P90～93 書き写し
11	7月28日	講義・演習	音楽業界の職種・周辺作業の仕事の職種と関係性を理解する	音楽業界HAND BOOK P94～97 書き写し
12	8月18日	講義・演習	アーティストスケジュールの大まかな流れを知る。メジャーアーティストを理解する	音楽業界HAND BOOK P98～101 書き写し
13	8月25日	講義・演習	アーティストスケジュールの大まかな流れを知る。インディーズアーティストを理解する	音楽業界HAND BOOK P102～105 書き写し
14	9月1日	講義・演習	音楽のジャンルに関わり方も多種多様になる事を知る。	音楽業界HAND BOOK P106～109 書き写し
15	9月15日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 A&Rを理解する	音楽業界HAND BOOK P110～113 書き写し
準備学習 時間外学習			用語をしっかりと覚えるように書き写す	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロダクション実務(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石川金一郎
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	PRISM、聖飢魔II、作曲家、林 哲司氏のマネージメントを行う						
授業の学習 内容	①音楽業界で働く為の知識を得る為 ②ライブイベント その他を成功させるため ③プロダクション レコード会社etcどこへ就職しても通用するスタッフに						
到達目標	マネジメント力を身につけ、社会人として創造力・自主性を持って行動できるよう人材になる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
2	10月13日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
3	10月20日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 具体的な仕事を学ぶ	音楽業界HAND BOOK P110~113 書き写し
4	11月10日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 スケジュール管理について理解する	音楽業界HAND BOOK P114~117 書き写し
5	11月17日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 プロフィールの作成ができる	音楽業界HAND BOOK P118~121 書き写し
6	11月24日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 ホテル宿泊と食事の対応を理解する	音楽業界HAND BOOK P122~125 書き写し
7	12月1日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 動時の対応を理解する	音楽業界HAND BOOK P126~129 書き写し
8	12月8日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 経理精算を理解する	音楽業界HAND BOOK P130~133 書き写し
9	12月15日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 アーティストスケジュール組立て方を学ぶ	音楽業界HAND BOOK P134~137 書き写し
10	12月22日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 取材、ラジオ、TV、地方キャンペーン現場対応を理解する	音楽業界HAND BOOK P138~141 書き写し
11	1月12日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 ライブ、コンサートの実施要項、舞台基礎用語を理解する	音楽業界HAND BOOK P142~145 書き写し
12	1月19日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 ライブ、コンサートの1日の流れ	音楽業界HAND BOOK P146~149 書き写し
13	1月26日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 レコーディングの進行の仕方と現場用語を理解する	音楽業界HAND BOOK P150~153 書き写し
14	2月9日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 CD作成の流れ。ジャケット、レコーディングを理解する	音楽業界HAND BOOK P154~157 書き写し
15	2月16日	講義・演習	A&R及びマネージャーの仕事 fun club、マーチャンダイジングのビジネスを理解する	音楽業界HAND BOOK P158~161 書き写し
準備学習 時間外学習			用語をしっかりと覚えるように書き写す	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Music Business IT(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 新名 佐和子
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	2008年よりフリーのイラストレーター、グラフィックデザイナー、アクセサリデザイナーとして活動している					
授業の学習 内容	社会においてIT知識、広告・宣伝は欠かせないものであり、消費者として普段からよく目にするものでもある。 この科目の受講者自身にはビジネスにおけるIT知識、広告宣伝に使えるデザインの基礎知識を習得してもらいたい。 講義では、ビジネスマナーとしてのIT知識を学び、基礎的な広告宣伝が行えるようなデザイン技術を、演習を中心に、制作現場で使用頻度の高いアプリケーションを用いて習得していく。					
到達目標	Wordの基本操作ができるようになる。(文書作成) Excelの基本操作ができるようになる。(表計算) Adobe Photoshopの基本操作ができるようになる。(レタッチ中心) Adobe Illustratorの基本操作ができるようになる。(ページ曲線操作、デザイン中心) Adobe InDesignの基本操作ができるようになる。(冊子作成)					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してデザインスキルを学ぶ	レポート
2	5月28日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してデザインスキルを学ぶ	レポート
3	6月4日	講義・演習	コンピュータに関する理解、Web検索、PhotoshopとIllustratorのちがいを理解 自己紹介を作成する	ツールを復習しながら自己紹介を完成させて次週提出(ワークシート)
4	6月11日	講義・演習	【Word】基礎技術習得、【Illustrator】文書作成&レイアウトWordとIllustratorのちがいを学ぶ	授業で学んだツールの復習をする(ワークシート)
5	6月18日	講義・演習	【Excel】基礎技術習得、請求書を作成する【Photoshop】選択範囲、レタッチ、フォトカラーズ、	レタッチの復習をする(ワークシート)
6	6月25日	講義・演習	【Illustrator】ページ曲線と図形、チラシ作成	次週続きから始められるように、考えを整える(ワークシート)
7	7月2日	講義・演習	【Photoshop】写真補正、拡大縮小、【Illustrator】チラシ作成、地図作成	授業での作品を完成させて次週提出(ワークシート)
8	7月9日	講義・演習	【Photoshop】【Illustrator】フライヤー作成(コンセプト～ラフ作成・色理解～提案)	次週続きから始められるように、考えを整える(ワークシート)
9	7月16日	講義・演習	【Photoshop】【Illustrator】フライヤー作成(レイアウトデザイン～ブラッシュアップ)	授業での作品を完成させて次週提出(ワークシート)
10	7月30日	講義・演習	【Photoshop】【Illustrator】名刺作成1 ラフ制作、ブラッシュアップ、素材収集	次週続きから始められるように、考えを整える(ワークシート)
11	8月20日	講義・演習	【Photoshop】【Illustrator】名刺作成2 デザイン作業	次週続きから始められるように名刺を仕上げる(ワークシート)
12	8月27日	講義・演習	【Photoshop】【Illustrator】名刺作成3 データ入稿の仕様を学ぶ	授業時間に学んだ入稿方法を実際に試して入稿する(ワークシート)
13	9月3日	講義・演習	【Photoshop】【Illustrator】【InDesign】冊子作成の基本を学ぶ	制作のために必要な素材を収集する(レポート)
14	9月10日	講義・演習	テスト解説、【Photoshop】【Illustrator】【InDesign】冊子完成、LINEスタンプ制作	次週のテストに備えこれまでの技術を復習する(レポート)
15	9月17日	講義・演習	到達度テスト、解説	苦手な部分、不明瞭な知識を把握し、補強する(レポート)
準備学習 時間外学習			時間外での学習や調べ物などで、PC操作をする時間を積極的に増やす	
【使用教科書・教材・参考書】				
Microsoft Word,Excel,Adobe Photoshop,Illustrator,InDesign				

科目名	Music Business IT(4)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 中山・高 部・足立
学科・コース	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	(中山)作編曲家として活動。提供実績(SPEED Dream AKB48 乃木坂46 日向坂46 氷川きよし アニメ等 他多数) (高部)音楽映像作家として活動。テクニミュージック作家。過去に横浜アリーナWIRE10出演。学校関連の動画を全国的に担					
授業の学習 内容	パソコンの進化により、今まではレコーディングスタジオでのみ出来た作業が簡単にできるようになりました。ライブ用にサイズ変更したり、ラジオの完パケやスポットも作成できます。以上をふまえProToolsを使い、楽曲のサイズ変更をできるようにする。楽曲と効果音を使い、秒数指定のスポットを作成できるようにする。 動画編集の基礎知識。主にAdobe Premiere Proを使用。将来動画関連の仕事に関わるイメージ想像。 動画編集への苦手意識改善。動画を絡めたビジネスへの興味関心向上。					
到達目標	ProToolsの基本的知識。ProTools上でオーディオを扱うことの理解。 Adobe Premiere Proを使用し簡単な動画編集と書き出しを可能にする。 自分のビジネスと動画を絡める想像力。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	イベント実践(we are)を通して映像編集を学ぶ	レポート
2	10月15日	講義・演習	イベント実践(we are)を通して楽曲編集を学ぶ	レポート
3	10月22日	講義・演習	テレビデータ 素材の概念を理解する	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
4	11月5日	講義・演習	エディット画面の説明 エフェクトの概念を理解する	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
5	11月12日	講義・演習	演出効果の説明を理解する	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
6	11月19日	講義・演習	編集作業/書き出し方法を理解する	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
7	11月26日	講義・演習	音源の活用方法を理解する	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
8	12月3日	講義・演習	編集を理解する	課題提出(レポート)
9	12月10日	講義・演習	編集を完成させる	課題提出(レポート)
10	12月17日	講義・演習	音声ファイルの種類、セッション作成、トラック作成を理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
11	1月7日	講義・演習	ミキサー画面、エディット画面、各種ツールの機能、音源インポートを理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
12	1月14日	講義・演習	バウンス、エクスポート、メドレー作成を理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
13	1月21日	講義・演習	波形分割、サイズ変更を理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
14	1月28日	講義・演習	波形分割、サイズ変更(イレギュラーな楽曲)を理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
15	2月11日	講義・演習	エフェクトの各種説明を理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
準備学習 時間外学習		授業時間内の制作が中心で、授業時間内で終わらなかったものを準備学習とします。		
【使用教科書・教材・参考書】				